

國學院大學學術情報リポジトリ

『大場磐雄著作集』に使用された資料群の再検討

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 宮川, 博司, 杉山, 章子, 廣木, 健太郎 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57529/00002055

『大場磐雄著作集』に使用された資料群の再検討

宮川博司・杉山章子・廣木健太郎

要旨

平成23年に刊行した『大場磐雄博士資料目録Ⅲ』において目録化をした「D.『大場磐雄著作集』掲載図版」資料群の再検討を行なった。目録では著作集における図版名や図面の種類など一部の情報の記載に留まった。しかし、これらの資料には大場磐雄による書き込みが多く残されていることから、本論ではこれらの情報を新たに抽出し検討を加えた。その結果として、『大場磐雄博士資料目録Ⅰ・Ⅱ』で目録化を行なった保管ケースに一括して収蔵されている資料カードの一部が『大場磐雄著作集』の図版として使用された可能性があると判明した。

キーワード

大場磐雄、『大場磐雄著作集』、『大場磐雄博士資料目録』、『大場磐雄博士写真資料目録』、資料カード

(1) はじめに

大場磐雄博士は明治32（1899）年東京に生まれ、旧制中学時代より鳥居龍蔵のもとに通い、考古学や人類学を学ぶ。大正7（1918）年、國學院大學に入學し、着任間もない折口信夫のもとで郷土研究会幹事として活躍し、民俗学の基礎知識を身につけた。卒業後は、神奈川県立第二横浜中学校教諭を経て、大正14（1925）年から内務省神社局考証課に勤務し、課長宮地直一のもとで文献史学を教え込まれる。その一方、國學院大學で考古学の講師を務め、國學院大學上代文化研究会（戦後は國學院大學考古学会）で後進を育成した。戦後、折口の勧めで昭和23（1948）年に学位論文「祭祀遺蹟の研究」を提出、翌年國學院大學教授に就任し、考古学専攻の設置など現在の國學院大學考古学研究室の基礎を築いた。

青年期の大場は縄文土器や土偶など縄文時代研究を主とし、その後内務省神社局考証課嘱託となると職務として神社調査や祭祀遺跡の調査・研究を行ない、それらの経験を生かし神道考古学を確立する。國學院大學教授となつてからは、祭祀遺跡や低湿地遺跡、集落遺跡など各地域・様々な時代の遺跡の発掘調査を担当し、これらの成果を通じて、広く一般に地域の文化財の重要性や保護の必要性を唱えた。

大場は膨大な研究資料を自ら収集・保管し、体系的な整理を行っており、それらの資料は没後、一括して國學院大學に寄贈された。その内容は蔵書、ガ

ラス乾板を含む写真原版、拓本、写真、切り抜き等の資料カード、原稿類と多岐にわたる。いずれも大正から戦後の日本考古学の展開期を物語る貴重な資料である。

伝統文化リサーチセンター「國學院の学術資産に見るモノと心」研究プロジェクトでは、大場磐雄博士資料の整理・目録化（データベース化）を行なってきた。大場は写真・拓本・絵葉書・図版・メモなどを台紙に貼り付けた資料を蓋付硬質ボール箱（保管ケース）に収納しており、本プロジェクトでは、この資料カード類を中心に調査・研究及び整理作業を行なってきた。

資料カード類は「Ⅰ. 旧石器時代編」、「Ⅱ. 縄文時代編」、「Ⅲ. 弥生時代編」、「Ⅳ. 古墳時代編」、「Ⅴ. 歴史時代編」、「Ⅵ. 祭祀編」、「Ⅶ. 民俗編」、「Ⅷ. 外国編」、「Ⅸ. 十二支」、「Ⅹ. その他」に大別され、全10群173箱に及ぶ。また上記以外に「A. 講演案綴」、「B. 草稿類」、「C. 収蔵資料」、「D. 『大場磐雄著作集』掲載図版」、「E. 地図」、「F. 絵葉書・パンフレット」の6群の資料がある⁽¹⁾。

(2) 『大場磐雄著作集』と再整理の方針

『大場磐雄著作集』は全8巻からなり、大場磐雄が執筆した学史上、特に重要と考えられる論文や報告を収録した論文集である。第1巻『先史文化論考(上)』では縄文土器や集落遺跡、祭祀遺跡など縄文時代に関する研究を行ない、関東から中部地方の一部に関する論考を掲載している。第2巻『先史文化論考(下)』では中部地方以西の縄文時代及び登呂遺跡や方形周溝墓など弥生時代に関する論考、第3巻『原史文化論考』では菅生遺跡などの古墳時代に関する論考、第4巻『歴史考古学論考』では、寺院や祭祀遺跡など歴史考古学に関する論考、第5巻『古典と考古学』では、「記紀」や「万葉集」など文献と考古学を交叉させた論考が掲載されており晩年の昭和50(1975)年から昭和52年に雄山閣より出版された。第6巻から第8巻『楽石雑筆』(上・中・下巻)は、大場の調査や見学の記録である。

『大場磐雄著作集』第1巻から第5巻に用いた図版部の原図(図版資料)が、テンバコに一括した状態で保管されており、これらを「D、『大場磐雄著作集』掲載図版」とし、『大場磐雄博士資料目録Ⅲ』において目録化を行なった。目録では所蔵を確認した図版名及び拓本、写真など所蔵されている図面の種類(記録形式)の提示に留まったが、これらの資料群の中には、写真や実測図、拓本等を台紙に貼った資料カードと同様な形態のものが多く含まれ、それらの多くには大場による自筆のメモ等の書き込みが多く残されていることから、『大場磐雄博士資料目録Ⅰ・Ⅱ』で目録化を行なった保管ケース(資料カード類)から『大場磐雄著作集』の図版資料として抜き出された資料が含まれると推察した。このことから同資料群に対し『大場磐雄博士資料目録Ⅰ・Ⅱ』と同様な属性の抽出を行ない、資料の再検討を行なった。また、資料の再整理に際して、資料にもともと内包されている属性や記載されている情報(オリジナル情報)を可能な限り維持する為、「遺跡名・所蔵者・日付等」や「著作集における表記」、「種別」などの8項目の属性を抽出した。

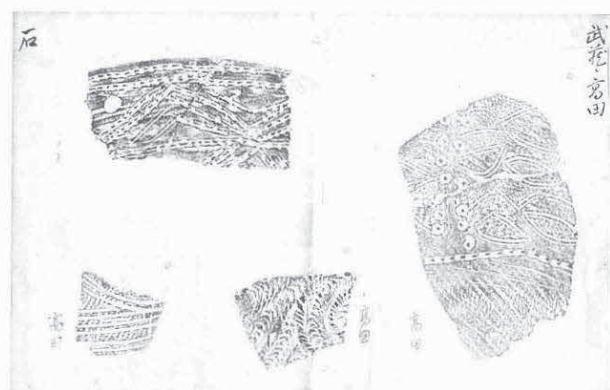
(3) 『大場磐雄著作集』掲載図版と各巻概要

1. 第1巻『先史文化論考(上)』

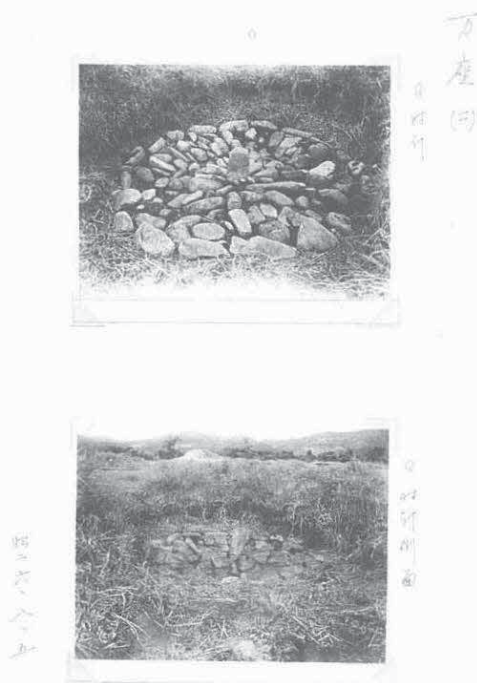
第1巻は、永峯光一氏を中心に編集を行ない、昭和

50(1975)年3月に刊行した。諸磯式土器や集落遺跡、配石遺構など縄文時代に関する研究が行なわれ、関東から中部地方の一部に関する報告や論考の中から主要なものが選ばれて再録されている。掲載されている22編の論文の多くは、大正末期から昭和初期に大場が新進気鋭の縄文時代の研究者として執筆した論文が大半を占める。特に「諸磯式土器の研究」に代表されるような縄文土器研究や平出遺跡などの集落遺跡研究、大湯環状列石や長野県上原遺跡などの配石遺構の研究など考古学史上重要な研究が多数ある。

第1図は、「諸磯式土器の研究」に掲載された神奈川県高田興禪寺裏遺跡出土の縄文時代前期後半の土器拓影図である。大場は、縄文土器の分類や編年が整備されていない状況下において、榊原(1921)⁽²⁾



第1図 神奈川県高田出土土器(D-1-50-1)



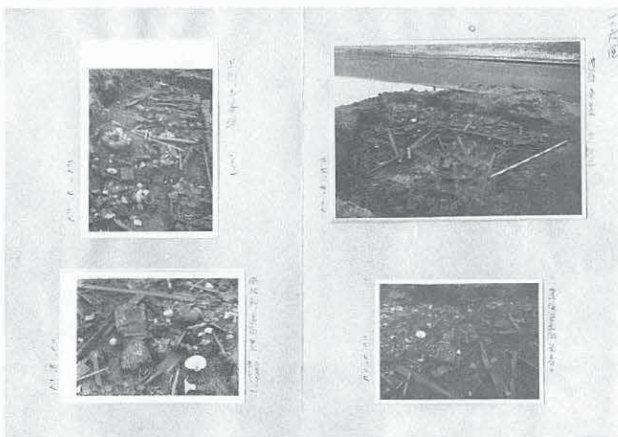
第2図 秋田県大湯環状列石(D-1-36)

が提唱した諸磯式土器の型式設定を支持し、関東地方において諸磯式土器の研究を行なった。また、鳥居龍蔵が提示した厚手式土器の使用者≒山手の部族、薄手式土器の使用者≒海岸部族と考える人種論に対し、諸磯式土器の使用者を漂泊民とし、第3の部族として位置づけた学史的に重要な論文である。

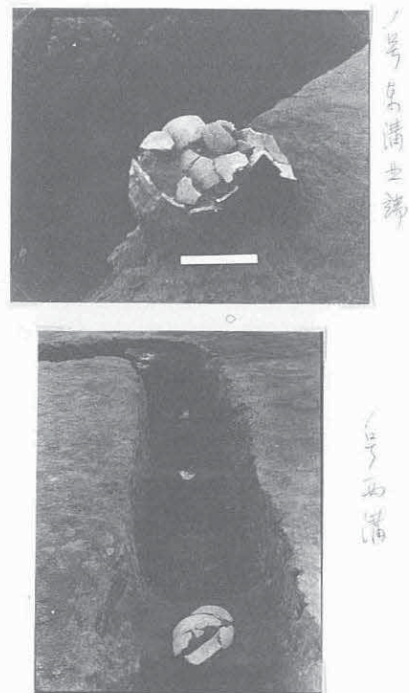
第2図は「長野県北安曇郡平村発見の環状石籬」に掲載された秋田県大湯環状列石の写真である。大場による書き込みで昭和26（1951）年8月5日に撮影したものと判る。大場は8月3日から8日まで秋田県大湯環状列石・野中堂の発掘調査に調査団の一員として参加し、第2図などに示したような遺構や調査風景を撮影している。同調査で撮影したガラス乾板は、大場磐雄博士写真資料として保管されている（ob2476-2490, 2502-2513）⁽³⁾。また昭和28年に刊行した大湯環状列石の報告書⁽⁴⁾で、大場は石信仰に関して執筆している。現在、特別史跡として整備・公開されている同遺跡の発見直後の様子を窺い知ることができる貴重な資料である。

2. 第2巻『先史文化論考（下）』

第2巻は、乙益重隆氏を中心に編集を行ない、昭和50（1975）年1月に刊行した。同書は、『先史文化論考（上）』と一連をなすもので、中部地方以西の縄文時代に関する論文及び弥生時代に関する報告や論考の中から主要な20編が選ばれて再録されている。特に静岡県登呂遺跡や新潟県千種遺跡など弥生時代の低湿地遺跡に関する論文や、大場が東京都宇津木向原遺跡においてはじめて発見し、その墓制を方形周溝墓と命名した論文など、学史上有名な論考が含まれる。



第3図 新潟県千種遺跡（D-2-93）



第4図 東京都犬目町甲ノ原遺跡（D-2-113）

第3図は、千種遺跡の遺物出土状況の写真である。多量の植物遺存体と共伴して弥生土器や木製品が出土している。大場による書き込みで昭和27（1952）年7月27日とあり、同年5月に続き再調査を行なった時の写真である。大場磐雄博士写真資料（ガラス乾板）としては5月の調査写真のみを所蔵する。

第4図は、「方形周溝墓の発見と意義」に掲載された東京都犬目町甲ノ原遺跡の周溝内遺物出土状況の写真である。初出の『宇津木遺跡とその周辺』では、図版を使用していないため、『先史文化論考（下）』を編集した際に方形周溝墓の写真を追加したと考えられる。

3. 第3巻『原史文化論考』

第3巻は、亀井正道氏を中心に編集を行ない、昭和52（1977）年6月に刊行した。同書は、大場の古墳時代を中心とする報告や論考の中から主要なものが選ばれて再録されている。昭和5（1930）年から昭和46（1971）年までに発表されたもので、全部で22編に及ぶ。大場自身があとがきで述べているように、四部に分けられており、「第一部が古墳の発掘調査を主とした報告と小論、第二部が集落跡に関する報告と論考、第三部が古墳時代人の思想に関する

論考、第四部が雑考」⁽⁵⁾ という構成になっている。

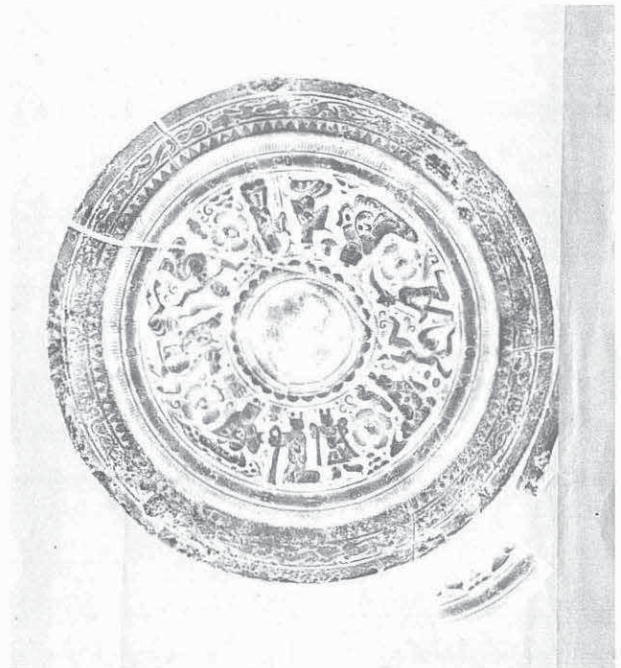
冒頭に収められた「掘り出された武蔵野文化」は中学生向け⁽⁶⁾ のため、平易な文章で書かれているが、東京都粕江市亀塚古墳の調査成果や『新編武蔵風土記稿』『続日本後紀』等の文献を用いて考察されている。

第5図は亀塚古墳出土の神人歌舞画像鏡の拓本である。この鏡については、同範鏡・踏み返し鏡合わせて10面の存在が知られており、国宝の隅田八幡神社人物画像鏡との関係も注目されている。なお、調査の報告は大場の没後小出義治氏によってまとめられている⁽⁷⁾。

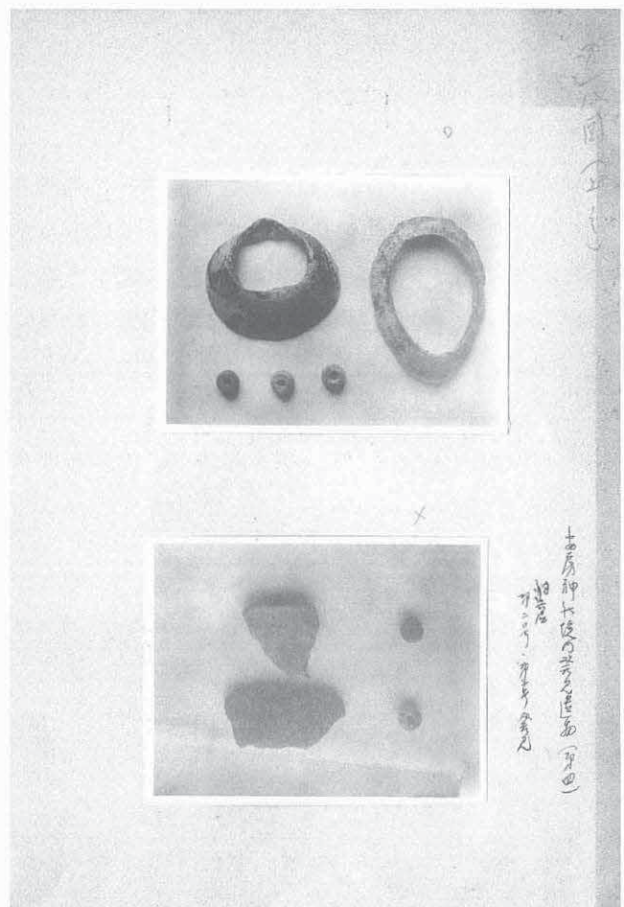
第6図は、千葉県安房神社境内で発見された洞窟遺跡の出土品である。この台紙には「上ノミ」「○×」の書き込みが見られ、取捨選択の結果、2枚の内、滑石製小玉とオオツタノハ製・タマキガイ製貝輪の写真のみが著作集に使用されたことが判かる。なお、この遺跡は洞窟遺跡研究において重要な位置を占めるものであり、近年千葉大学によって調査が行われ、遺跡の再検討が進められている⁽⁸⁾。

第7図は「姥塚から」の挿図であり、宮崎県西都原古墳群で昭和14（1939）年に撮影されたものである⁽⁹⁾。ガラス乾板のメモと「楽石雑筆」から当時の状況が確認できる。下の写真には大場自身が写っており、大場の遺跡踏査の様子が垣間見られる。この論考は古墳について民俗学的な考察を試みたものであるが、大場はこの他にも第3部の「考古学上から見た我が上代人の他界観念」や第4部の「櫛私考」等、多くの論考で考古学に文献史学や民俗学を加えた独自の考察を行っている⁽¹⁰⁾。

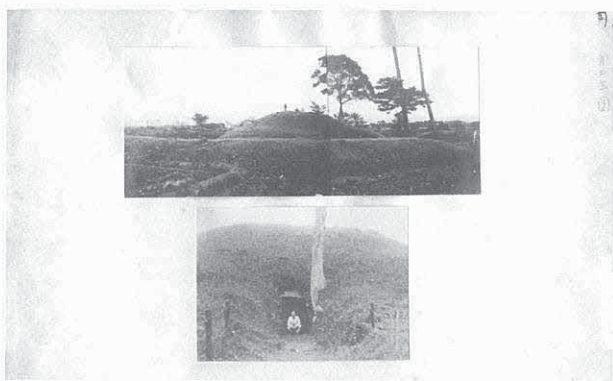
第8図は、菅生遺跡の発掘調査風景であり、5枚の写真⁽¹¹⁾を組み合わせて作成された、非常に手の込んだ図版となっている。第2部の「上総菅生遺跡一予報」「上総菅生遺跡の一考察」「千葉県木更津市菅生遺跡の研究」の関連資料で、残念ながら著作集では採用されていないが、「上総菅生遺跡一予報第二回」⁽¹²⁾等を使用されている。Dの資料群には、このように著作集に採用されなかった図版の一部と一緒に保管されており、豊富な資料の中から図版を取捨選択していった編集過程が窺える資料として興味深い。



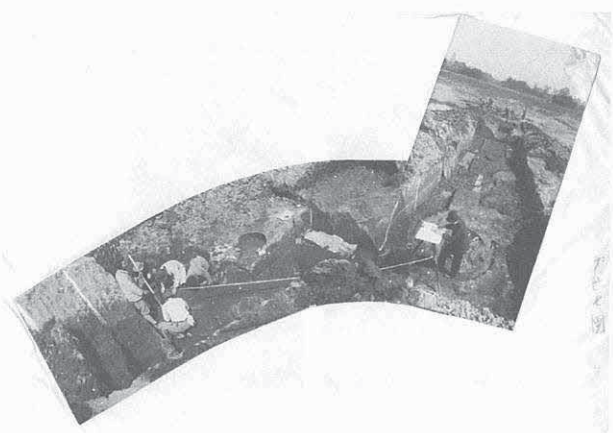
第5図：神人歌舞画像鏡（D-3-8）



第6図：安房神社境内洞窟出土遺物（D-3-18）



第7図 鬼の窟（西都原古墳群）(D-3-23)



第8図 菅生遺跡調査風景 (D-3-103-1)

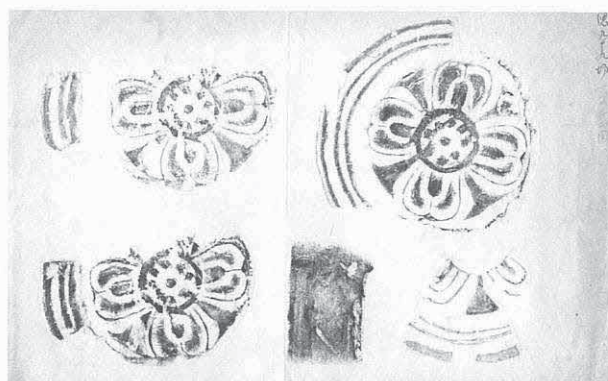
4. 第4巻『歴史考古学論考』

第4巻は、景山春樹氏を中心に編集を行ない、昭和50（1975）年10月に刊行した。同書には、大場の歴史考古学に関する報告や論考の中から主要なものが選ばれて再録された。昭和9（1934）年から昭和48（1973）年までに発表された、26編が収められている。大場自身があとがきで述べているように、五部に分けられており、「一部は寺院跡に関するもの、二部は宮跡や国府跡、第三部は経塚、第四部は祭祀跡、第五部は雑稿」⁽¹³⁾ という構成になっている。

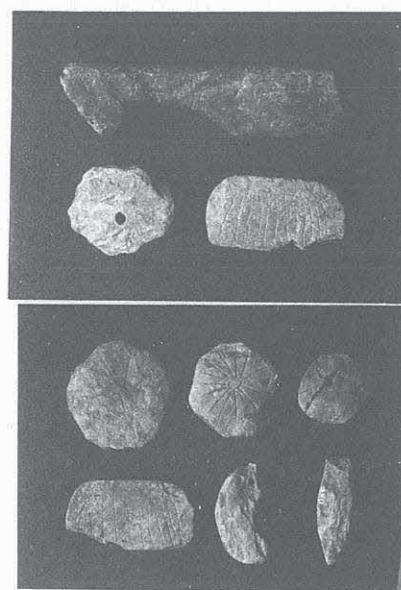
第9図は千葉県九十九坊廃寺跡出土瓦の拓本である。この遺跡は大場と内藤政恒氏・篠崎一郎氏が中心となって調査し、報告の執筆も共同で行われている。昭和8（1933）年9月より数回に亘る調査が行われた結果、廃寺跡と共に付近の瓦窯跡も確認された⁽¹⁴⁾。ここに示した拓本の他、実測図やガラス乾板等の関連資料が保存されている⁽¹⁵⁾。なお、平成5（1993）年に廃寺跡、平成14（2002）年には千葉県牛ヶ作瓦窯跡の再調査が行われ、平成15（2003）年3月には「画像資料と近代史－歴史学研究における記録資料の役割－」と題した國學院大學におけ

る研究会の中で、大場資料との比較検討が行われた⁽¹⁶⁾。

第10図は埼玉県西別府祭祀遺跡出土の石製模造品である。湯殿神社裏の湧水地付近から馬形や櫛形等、多数の石製模造品が出土した。大場は古代の水霊信仰について「水霊信仰の考古学的考察」⁽¹⁷⁾ と「海神投供考」⁽¹⁸⁾ の二つの論考を発表しており、西別府祭祀遺跡の例も「沼神水霊に献供された」と捉えている。昭和38（1963）年の大場の調査後、熊谷市により第2～4次調査⁽¹⁹⁾ が行われ、7世紀から11世紀に至るまで水辺の祭祀が行われた遺跡であると確認されている。なお、著作集の図版にはガラス乾板からの焼付写真が用いられているが、ネガフィルムも残されており、昭和38年度の発掘調査綴（C-32）には、ネガのベタ焼きが収められている⁽²⁰⁾。



第9図 上総九十九坊廃寺跡出土瓦 (D-4-9)



第10図 西別府祭祀遺跡出土石製模造品 (D-4-33)

5. 第5巻『古典と考古学』

第5巻は、佐野大和氏を中心に編集を行ない、昭和51（1976）年4月に刊行されている。同書には、『古事記』や『万葉集』などの古典の祭祀情景について考察した「古典研究」、各神社の成立について考察した「神社研究」、また古代に関する諸説を集めた「雑考」が収められている。

第11図は、昭和26（1951）年に行われた長野県神坂峠頂上付近の発掘調査風景である。神坂峠で行われた祭祀に着目した大場は、『万葉集』などの古典と考古学的見解を合せて「万葉集にあらわれた祭祀」や「峠神の一考察」「古東山道の一考察」といった論考を著している。

第12図の沼尾池跡出土遺物は、『常陸国風土記』の「香島郡」沼尾池比定地から出土した遺物であり、沼神への信仰や近くの沼尾社との関係について言及した「沼尾池跡と発見遺物」で使用されている。

神社に関する研究では、大場が提言している「原始信仰」、「原始神道」という用語に見られる通り、神社が創建される以前の事について触れているものが多い。例として「神倉神社と天磐盾」のごとびき岩（第13図）、「二荒山神社の一考察」では白ヶ峰頂上及び二荒山神社境内より出土した遺物（第14図）から二荒山に対する信仰、「猿投神社の祭神と創始」では御舟石・御鞍石・鸚鵡石（第15図）への信仰を取り上げている。また「伊豆山神社の鎮座について」では、日金山と走湯の信仰を基盤としながら、後に熊野信仰の影響を受けて本宮・中本宮（第16図）・新宮が創設されているといった変遷を想定し、祭祀場から神社への変遷過程を考察している。

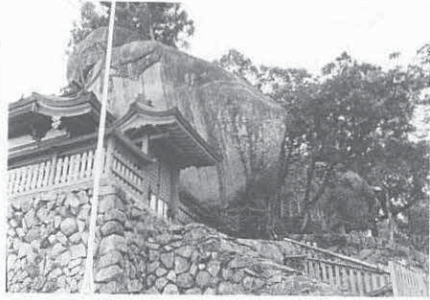
大場の論考は、考古学的資料は勿論、古典や中世の史料の他、近世の国学者の研究などが用いられており、この第5巻には特にその傾向が顕著なものが収録されている。



第11図 長野県神坂峠調査風景（D-5-20）

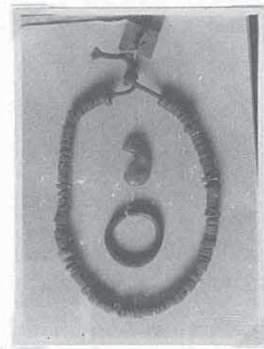
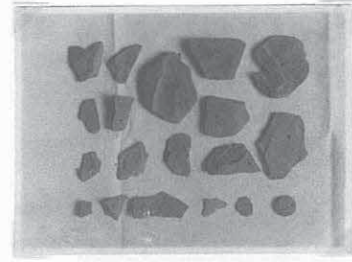


第12図 茨城県沼尾池跡出土遺物（D-5-28）



古奥とまろくち
第13図 神倉神社とことびき岩

第13図 神倉神社とことびき岩 (D-5-32)



第14図 二荒山神社境内出土遺物

第14図 二荒山神社境内出土遺物

第14図 二荒山神社境内出土遺物 (D-5-34)



第15図 猿投神社鸚鵡石



第15図 猿投神社鸚鵡石

第15図 猿投神社鸚鵡石 (D-5-35)



第16図 静岡県伊豆山中本宮社

第16図 静岡県伊豆山中本宮社 (D-5-39)

(4) 『大場磐雄著作集』掲載図版の再検討

『大場磐雄著作集』は出版に際して、執筆してから年月が経過している論文も含まれることから、文字原稿は初出のまま掲載しているが図版に関しては、新たに資料を追加したり、より鮮明な写真や拓本に差替えて出版したと考えられる。

本論の対象とする資料は約450点ある。『先史文化論考(上)』は、口絵を含め115点中64点、『先史文化論考(下)』は、146点中124点、『原史文化論考』は、113点中104点、『歴史考古学論考』は、96点中53点、『古典と考古学』は、99点中62点が所蔵されている。

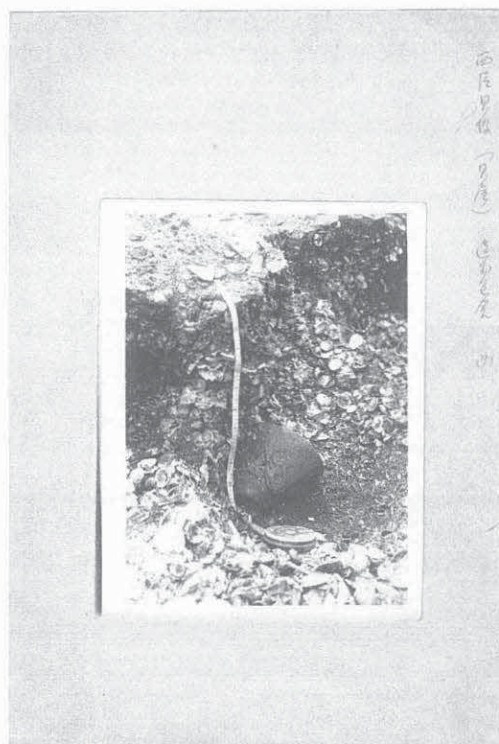
『先史文化論考(下)』や『原史文化論考』に掲載された図版の大半が保管されているのに対し、『先史文化論考(上)』では「武蔵国橘樹郡箕輪貝塚発掘報告—諸磯式土器の研究(続)」に該当する図版が無く、また全体としても半数程しか保管されていない。『大場磐雄著作集』掲載図版の保管状況には巻ごとに大きく差異がみられた。

所蔵している資料としては、第17図のように資料カードに単に付箋を貼り付け図版とした資料や、第18図のように資料カードにトレーシングペーパーを被せたもの、第6・19・20図のように「○×」や「上ノミ」など指示を直接書き込んだ資料などが半数を占める。これらは写真や実測図、拓本等を台紙に貼った資料カード類を図版に転用したと考えられる資料である。

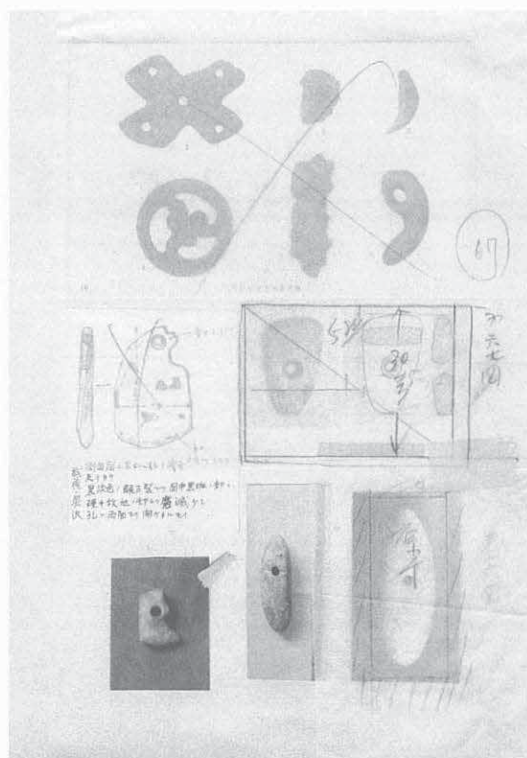
また、第13図のように原稿用紙などに写真や資料を貼り付けた図版がある。このような資料は掲載された論文単位で集中していること、図版番号や校正指示などを除き、大場による書き込みがごく少ないことなどから『大場磐雄著作集』用に新たに作成した図版であると考えられる。

他に点数は少ないが、論文に掲載した図版を転載したものもある。例えば第21図では図版中に郷土研究の印が押されており、「民具の考古学」『郷土研究講座4 生業』に使用した図版である。

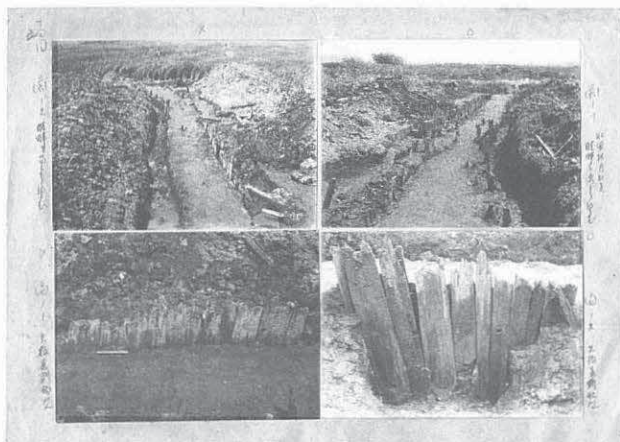
一方では、第22図のように図版の上に白いマスキングシートを貼り付け、トリミングを行っている。PCによる編集作業が当たり前となってしまった今日において、当時の図版作成の過程や編集過程を窺い知ることのできる考古学史的にも興味深い資料である。



第17図 資料カードに付箋(図版番号)が付されたもの(D-2-78)



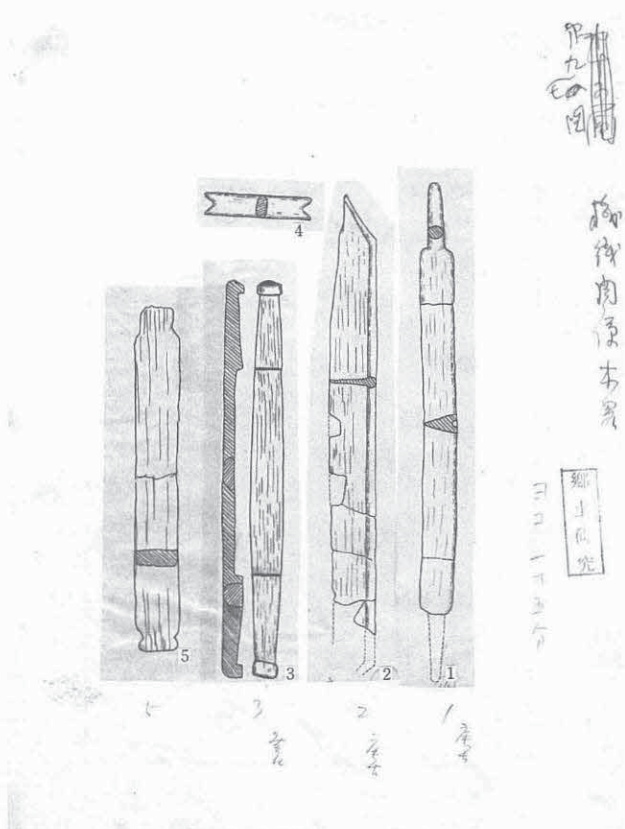
第18図 著作集に用いられた資料カード1(D-2-24)



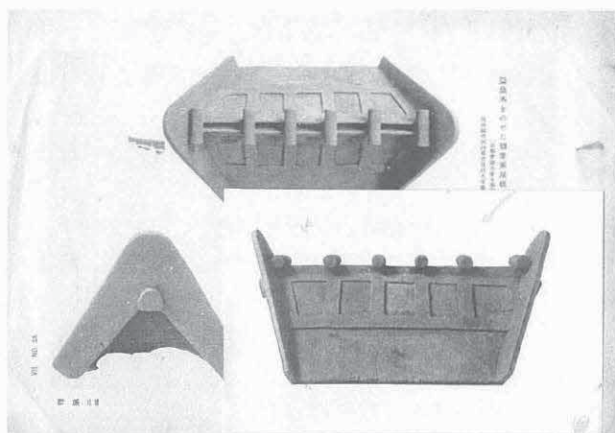
第19図 著作集に用いられた資料カード2 (D-2-112)



第20図 著作集に用いられた資料カード3 (D-3-4)



第21図 論文から転載した図版 (D-5-56)



第22図 マスキングされた図版 (D-5-6)

註

- (1) 「I. 旧石器時代編」から「IV. 古墳時代編」までの目録として『大場磐雄博士資料目録Ⅰ』（平成16年刊行）、「V. 歴史時代編」の目録として、『平成15年度 國學院大學學術フロンティア構想「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」事業報告』および『平成16年度國學院大學學術フロンティア構想「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」事業報告』、「VI. 祭祀編」から「X. その他」の目録として『大場磐雄博士資料目録Ⅱ』（平成22年刊行）を報告してきた。「A. 講演案綴」、「B. 草稿類」、「C. 収蔵資料」、「D. 『大場磐雄博士著作集』掲載図版」、「E. 地図」、「F. 絵葉書・パンフレット」の目録として『大場磐雄博士資料目録Ⅲ』（平成23年刊行）がある。
- (2) 榊原政職 1921「相模國諸磯石器時代遺蹟調査報告」『考古学雑誌』11巻8号
- (3) 國學院大學日本文化研究所學術フロンティア推進事業「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」プロジェクト編2005『大場磐雄博士写真資料目録Ⅰ』國學院大學日本文化研究所
- (4) 大場磐雄 1953「わが国に於ける石信仰—大湯環状列石解明の比較資料として」『大湯環状列石』吉川弘文館
- (5) 大場磐雄 1977「あとがき」『第3巻 原史文化論考』
- (6) 大場磐雄 1952「掘り出された武蔵野文化」『中学時代』
- (7) 小出義治 1985「亀塚古墳」『狛江市史』狛江市教育委員会
- (8) 千葉大学文学部考古学研究室編
2009 『千葉県指定史跡安房神社洞窟遺跡：第1次発掘調査概報』
2010 『千葉県指定史跡安房神社洞窟遺跡：第2次発掘調査概報』
- (9) 大場磐雄博士写真資料 ob1395・1396・1398
乾板に添えられたメモによれば昭和14年撮影である。また、「楽石雑筆」巻17に鬼の窟で記念撮影をした記事がある。
- (10) このような「三位一体」の学際的な研究は大場の研究の一つの特徴でもある。
佐野大和 1976「解説」『第5巻 古典と考古学』雄山閣
- (11) 大場磐雄博士写真資料 ob4776・4777・4798・4799・4824の5枚の乾板から焼付けた写真を組み合わせている。昭和13年4月菅生遺跡第一次第二回調査時の撮影。
- (12) 大場磐雄 1938「上総菅生遺跡—予報第二回—」『考古学』9巻10号 東京考古学会
- (13) 大場磐雄 1975「あとがき」『第4巻 歴史考古学論考』
- (14) 調査経過については『楽石雑筆』巻10に詳しい。
- (15) 國學院大學學術フロンティア推進事業「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」プロジェクト編2005『大場磐雄博士写真資料目録Ⅰ』國學院大學日本文化研究所
國學院大學學術フロンティア事業実行委員会編2005「大場資料目録—V. 歴史時代編（後編）—」『平成16年度國學院大學學術フロンティア構想「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」事業報告』
- (16) 光江章・酒巻忠史「楽石雑筆に見る君津地方の遺跡調査」『國學院大學學術フロンティア事業研究報告 人文科学と画像資料研究』第1集 國學院大學日本文化研究所
- (17) 大場磐雄 1950「水霊信仰の考古学的考察」『本流』創刊号 國學院大學文学部
- (18) 大場磐雄 1954「海神投供考」『古典の新研究』第2集 明治書院
- (19) 熊谷市教育委員会編
2000『西別府祭祀遺跡』
2009『西別府祭祀遺跡Ⅱ』
2011『西別府祭祀遺跡Ⅲ』
- (20) 國學院大學學術フロンティア事業実行委員会編2006「大場磐雄博士写真資料目録—ネガフィルム編—」『平成一七年度國學院大學學術フロンティア構想「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」事業報告』
文部科学省オープンリサーチセンター整備事業「モノと心に学ぶ伝統の知恵と実践」プロジェクト編2011『大場磐雄博士資料目録Ⅲ』國學院大學研究開発推進機構伝統文化リサーチセンター

主要参考文献

- 國學院大學日本文化研究所学術フロンティア推進事業「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」プロジェクト編2004『大場磐雄博士資料目録Ⅰ』 國學院大學日本文化研究所
- 國學院大學研究開発推進機構伝統文化リサーチセンター編2010『大場磐雄博士資料目録Ⅱ』 國學院大學研究開発推進機構伝統文化リサーチセンター
- 國學院大學研究開発推進機構伝統文化リサーチセンター編2011『大場磐雄博士資料目録Ⅲ』 國學院大學研究開発推進機構伝統文化リサーチセンター
- 國學院大學日本文化研究所学術フロンティア推進事業「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」プロジェクト編2005『大場磐雄博士写真資料目録Ⅰ』 國學院大學日本文化研究所
- 國學院大學日本文化研究所学術フロンティア推進事業「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」プロジェクト編2006『大場磐雄博士写真資料目録Ⅱ』 國學院大學日本文化研究所
- 國學院大學図書館編1988『楽石文庫目録』 國學院大學図書館
- 深澤太郎他2004「大場磐雄と大場磐雄コレクション4」「大場資料目録-V. 歴史時代編-」『平成15年度國學院大學学術フロンティア構想「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」事業報告』國學院大學学術フロンティア事業実行委員会
- 深澤太郎他2005「大場磐雄と大場磐雄コレクション5」「大場資料目録-V. 歴史時代編-」『平成16年度國學院大學学術フロンティア構想「劣化画像の再生活用と資料化に関する基礎的研究」事業報告』國學院大學学術フロンティア事業実行委員会

大場磐雄著作集

- 1975『第1巻 先史文化論考(上)』雄山閣
- 1975『第2巻 先史文化論考(下)』雄山閣
- 1977『第3巻 原史文化論考』雄山閣
- 1975『第4巻 歴史考古学論考』雄山閣
- 1976『第5巻 古典と考古学』雄山閣

『第1巻 先史文化論考(上)』掲載論文

- 1927「日本石器時代研究の沿革(上)」『中央史壇』第13巻第1号 国史講習会
- 1935「日本石器時代研究小史-石亭から坪井博士迄-」『ドルメン』第4巻第6号 岡書院
- 1932「日本縄文土器(序説)」『考古学』第3巻第3号 東京考古学会
- 1933「縄文式土器論の過去及び現在」『考古学雑誌』第23巻第1号 日本考古学会
- 1923「武蔵国橘樹郡宮前村野川石器時代遺跡報告(一)(二)」『考古学雑誌』第13巻第10号、同第11号 日本考古学会
- 1936「自由学園内の石器時代敷石住居址」『史前学雑誌』第8

巻第4号 史前学会

- 1926「考古学上より観たる秩父(上・中)」『中央史壇』第12巻第11号、第12巻第12号 国史講習会
- 1952「杉並区新町発見の石器時代遺跡に就いて(上)(下)」『西郊文化』第1輯、第2輯 杉並区史編纂委員会
- 1932「千葉県安房郡神戸村大塚貝塚に就いて」『人類学雑誌』第47巻第11号 日本人類学会
- 1952「栗島台遺跡に対する一考察」『上代文化』第22輯 国学院大学考古学会
- 1952「長野県北安曇郡平村上原遺跡第二次調査概報(大場:長野県北安曇郡平村発見の環状石籬)」『信濃』第4巻第4・5・6合併号 信濃史学会
- 1963「長野県東筑摩郡四賀村井刈遺跡調査概報」『信濃』第15巻第12号 信濃史学会
- 1937「木曾溪谷石器時代概観」『先史考古学』第1巻第3号 先史考古学会
- 1957「長野県西筑摩郡三岳村若宮遺跡調査概報」『信濃』第9巻第3号 信濃史学会
- 1924「諸磯式土器の研究(一)~(三)」『考古学雑誌』第14巻第9号、同第11号、第15巻第1号 日本考古学会
- 1925「武蔵国橘樹郡箕輪貝塚発掘報告(一)~(三)(諸磯式土器の研究四・四・五)」『考古学雑誌』第15巻第3号、同第9号、第16巻第4号 日本考古学会
- 1927「三浦半島の石器時代遺跡」『國學院雑誌』第33巻第2号 國學院大學
- 1930「繊維土器出土の遺跡に就いて」『史前学雑誌』第2巻第2号 史前学会
- 1931「関東に於ける奥羽薄手式土器(上・下)」『史前学雑誌』第3巻第5号、第4巻第1号 史前学会
- 1923「日本石器時代民衆の生活状態」『中央史壇』第9巻第1号 国史講習会
- 1922「石器時代宗教思想の一端(一)~(三)」『考古学雑誌』第13巻第4号、同第5号、同第8号 日本考古学会
- 1926「土偶に関する二三の考察」『國學院雑誌』第33巻第5号 國學院大學
- 1926「土偶の社会学的考察-日本石器時代における母権の存在-」『國學院雑誌』第32巻第9号 國學院大學

『第2巻 先史文化論考(下)』掲載論文

- 1925「日本石器時代における二大文化圏」『國學院雑誌』第33巻第12号 國學院大學
- 1934「本邦上代の洞窟遺跡」『史前学雑誌』第6巻第3号 史前学会
- 1967「日本における洞穴遺跡研究史」『日本の洞穴遺跡』平凡社
- 1924「小田原を中心とする石器時代遺跡概観」『中央史壇』第9巻第1号 国史講習会
- 1927「伊豆半島の遺跡遺物(上・中)」『史蹟名勝天然紀念物』第2集第11・12号 史蹟名勝天然紀念物保存協会
- 1933「新たに発見した石器時代敷石住居址」『上代文化』第10号 上代文化研究会
- 1944「愛知県本宮山麓の考古学的調査」『三河国一宮砥鹿神社誌』

砥鹿神社事務所

- 1933 「西尾町の有史以前」『西尾町史』上西尾町
1938 「伊勢国発見の縄紋式遺物」『史前学雑誌』第10巻第1号
史前学会
1932 「近畿地方発見の縄文土器に就いて」『大和考古学』第2
巻第2号 大和上代文化研究会
1953 「佐渡千種遺跡について」『千種』新潟県教育委員会
1973 「素文鏡の謎」『宇津木遺跡とその周辺 方形周溝墓初発
見の遺跡』考古学資料刊行会
1952 「登呂遺跡について」『短歌芸術』第8巻第3号 短歌芸術
社
1950 「登呂発見の遺物」『登呂遺跡調査白書』新日本歴史学会
1950 「登呂ムラの農業及び農民生活」『登呂遺跡調査白書』新
日本歴史学会
1965 「方形周溝墓」『日本の考古学月報』3 河出書房
1973 「方形周溝墓の発見と意義」『宇津木遺跡とその周辺 方
形周溝墓初発見の遺跡』考古学資料刊行会
1970 「武蔵国内の方形周溝墓」『東京史談 菊池先生追悼号』

『第3巻 原史文化論考』掲載論文

- 1952 「掘り出された武蔵野文化」『中学時代』
1961 「考古学から見た多摩地方」『多摩考古』第3号 多摩考
古学研究会
1933 「安房神社洞窟発掘調査概報」『史前学雑誌』第5巻第1
号 史前学会
1936 「姥塚から」『ミネルヴァ』第1巻第6・7号 翰林書房
1930 「三河国青塚古墳と発見遺物に就いて」『考古学』第1巻
第3号 東京考古学会
1930 「断夫山古墳の造出に就いて」『考古学雑誌』第20巻第1
号 日本考古学会
1958 「筑摩の金冠」『信濃』第10巻第5号 信濃史学会
1957 「長野県東筑摩郡宗賀村平出第一号古墳調査概報」『信濃』
第9巻第3号 信濃史学会
1941 「勢陽考古雑記(一) - 高倉山頂の大石槨墳 -」『古代文
化』第12巻第7号 日本古代文化学会
1950 「上代東伊予の考古学的考察(上・下)」『国史学第52・53
号』国史学会
1948 「伊予国御幸寺山古墳寛書」『史迹と美術』179 史迹美術
同攷会
1957 「原史時代の村」『郷土研究講座2 村落』角川書店
1938 「上総菅生遺跡(予報第一回・第二回)」『考古学』第9巻
第3号・第10号 東京考古学会
1939 「上総菅生遺跡の一考察(一)(二)」『考古学雑誌』第29
巻第1号・第3号 日本考古学会
1948 「千葉県木更津市菅生遺跡の研究」『上代文化』第18輯
國學院大學考古学会
1950 「考古学上から見た我が上代人の他界觀念」『宗教研究』
第123号 日本宗教学会
1971 「古墳に見る古代信仰」『歴史読本』第16巻第8号 人物
往来社
1950 「櫛私考」『古代研究』1 国学院大学日本古代学会

- 1963 「加賀片山津玉造遺跡の考察」『加賀片山津玉造遺跡の研
究』加賀市教育委員会
1953 「挙手人面土師器寛書」『信濃』第5巻第1号 信濃史学
会
1959 「古代の神饌」『礼典』8 国学院大学内礼典研究会
1968 「随想一性器をあらわした埴輪」『國學院雑誌』第69巻第
7号 國學院大學

『第4巻 歴史考古学論考』掲載論文

- 1949 「武蔵国分寺趾に於ける最近の発見品」『武蔵野』第31巻
第1号 武蔵野文化協会
1952 「武蔵国分尼址について」『武蔵野』第32巻第3・4号
武蔵野文化協会
1951 「相模国分寺の性格」『上代文化』第20輯 国学院大学考古
学会
1934 「上総国九十九坊廃寺社調査報告 史蹟名勝天然紀念物第
9集第9号」史蹟名勝天然紀念物保存協会
1949 「千葉寺を掘る」『京成文化』創刊号 京成分科会
1951 「舟山古墳と法安寺址」『小松史談』3-1 小松史談会
1968 「掘り出された旧都」『歴史読本』第13巻第3号 人物往
来社
1951 「相模国府の位置について」『史迹と美術』第210号 史迹
美術同攷会
1960 「国府集落」『神奈川県の歴史 県下の集落編』神奈川県
立図書館
1949 「真間の入江-その考古学的回顧-」『旅』23-1
1950 「甲斐国日下部発見の住居址-平出遺跡との関聯について-」
『信濃』第2巻第4号 信濃史学会
1953 「関東の経塚」『武蔵野』第33巻第1号 武蔵野文化協会
1963 「諏訪大社秋宮発見の経塚-(附)黄金入塚とその意義につ
いて-」『信濃』第15巻第10号 信濃史学会
1949 「春日御蓋山の経塚群」『かしはら』第6輯 榎原市文化
協会
1963 「新発見の祭祀遺跡」『史迹と美術』33-8 史迹美術同攷会
1964 「阿須賀神社境内の祭祀遺跡」『國學院雑誌』第65巻第10・
11号 國學院大學
1969 「神籠石所感」『日本城郭史論叢』雄山閣出版
1934 「お茶の水発見の地下坑」『歴史公論』第3巻第8号 雄
山閣
1947 「蔵手太刀に就いて」『考古学雑誌』第34巻第10号 日本
考古学会
1973 「伊勢神宮の御神宝」『古都』12
1954 「灰釉陶器の諸問題」『地方研究論叢-志茂樹先生還暦記念
会』
1968 「奉納鏡から見た庶民信仰の一考察」『日本歴史考古学論
叢』2 雄山閣
1958 「古代の酒」『食生活』第52巻第4号
1956 「古代の餅」『食生活』第50巻第1号
1956 「古壺のクイズ」『國學院雑誌』第57巻第7号 國學院大
學出版部

『第5巻 古典と考古学』掲載論文

- 1971 「神話と考古学」『かしはら』第39号 榎原市文化協会
- 1940 「信濃建国史の一考察」『信濃教育』640 信濃教育会
- 1957 「古典の発掘」『日本古典鑑賞講座 第2巻 古事記・風土記・記紀歌謡』角川書店
- 1954 「考古学上より見た古事記」『国文学 解釈と鑑賞』219 至文堂
- 1940 「神武天皇紀の一考察」『國學院雜誌第46巻第2号』國學院大學
- 1941 「古語拾遺の考古学的一考察」『國學院雜誌』第47巻第4号 皇典講究所
- 1954 「万葉集の考古学的研究」『万葉集講座第3巻 研究篇』創元社
- 1952 「万葉集に表れた祭祀—斎瓶・峠を中心として—」『國學院雜誌』53 国学院大学
- 1953 「万葉集の考古学的考察」『万葉集大成第8巻 民俗篇』平凡社
- 1936 「国造の一考察」『歴史公論第5巻第4号』雄山閣
- 1947 「風土記に現れた蓮」『多麻史談』15-3
- 1943 「沼尾池趾と発見遺物に就いて」『史蹟名勝天然紀念物』第18集第10号 史蹟名勝天然紀念物保存協会
- 1974 「神奈備山と神社」『大美和』46 大神神社
- 1953 「出雲国とその考古学的特質」『神道史学』第4輯 国民信仰研究所
- 1963 「神倉神社と天磐盾」『國學院雜誌』第64巻第2・3号 國學院大學
- 1958 「二荒山神社の一考察」『研修』第6巻第1号 國學院大學神道研修部神道研修会
- 1948 「猿投神社の祭神と創祀」『猿投神社誌』猿投神社
- 1944 「砥鹿神社の祭神と鎮座」『三河国一宮砥鹿神社誌』砥鹿神社社務所
- 1967 「伊豆山神社の鎮座について」『熱海市史』上巻
- 1973 「菅生発見の「やまごと」上」『どるめん』創刊号 萩書房
- 1974 「菅生発見の「やまごと」下」『どるめん』第2号 萩書房
- 1970 「古東山道の考古学的考察」『国学院大学大学院紀要』1 國學院大學大学院
- 1948 「国立公園の史的背景（一）絵巻物に現れた公園内の景観」『国立公園』1 国立公園研究会
- 1958 「民具の考古学」『郷土研究講座』4 生業 角川書店
- 1933 「土師部雑考」『上代文化』第9号 上代文化研究会

『大場磐雄著作集』に使用された資料群 目録

凡例

1. 目録では、可能な限り資料の現況の構成を保持することとし、また大場磐雄博士による書込みを尊重して、記載された情報をそのまま提示することに努めた。
2. 原則として大場磐雄著作集における図版番号を1項目とした。但し、同一の図版については、まとめて1項目とした。
3. 目録では「著作集の巻数」、「『大場磐雄博士資料目録Ⅲ』に掲載した資料番号」、「都道府県」、「遺跡名・所蔵者・日付等」、「著作集における表記」、「種別」、「記録形式」、「備考（掲載状況）」の8項目の属性を抽出した。
4. 目録で示した分類番号は、編目名（D）、巻数、資料番号の順に表記した（例：D-5-20）。
5. 「都道府県」の欄は、明らかなもののみ示した。
6. 「種別」の欄は主要なキーワードの抽出を行い、それぞれ項目を設けた。また、項目が多岐に亘る場合は代表的なものを示した。
7. 「記録形式」の欄は、写真・拓本・実測図（遺物実測図・遺構平面図・断面図・全測図など）・図版（版組みした図面・第2原図など）・スケッチ・分布図・地図・絵葉書・その他の9項目を設けた。
8. 原資料の代わりに保管されている複写資料に関しては、「記録形式」の項に㊟と示した。
9. 本論中の「…」は、省略した箇所を表す。
10. 著者が推定・補完を行った箇所は、〔 〕で示した。
11. 判読不能な文字に関しては、□で示した。

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
D-1 『第1巻 先史文化論考（上）』に使用された資料							
1	1	長野県	第一号環状石籬(復原写真) 上：南方より 下：北方より 昭27.1.20	口絵第2図 長野県北安曇郡平村発見一号環状石籬	遺構	写真	
1	2	長野県	木曾三岳村御嶽神社若宮遺跡 上：住居址(第二〇号)全景 下：同上 東南溝状部分	口絵第3図 長野県西筑摩郡三岳村若宮遺跡第二号住居跡	遺構	写真	上のみ使用
1	3	/	表：第三図 昭12.6.9撮影 裏：岐阜県高山市二木長左エ門氏蔵	第3図 木内石亭像	人物	写真	
1	4	東京都	第六図	第5図 モールス先生の発見にかかる大森貝塚の記念碑 第6図 晩年のモールス先生	人物	写真	
1	5	/	第七図 S. Tsuboi	第7図 坪井正五郎博士	人物	写真	
1	6	神奈川県	第九図 武蔵・野川 野川発見(水野)	第9図 野川遺跡出土土器拓本（Ⅰ）	土器	拓本	
1	7	神奈川県	第一一図 武蔵・野川 野川(水野)	第10図 野川遺跡出土土器拓本（Ⅱ）	土器	拓本	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
1	8	神奈川県	第一〇図 武蔵・野川 野川(水野)	第11図 土器拓本(Ⅲ)	土器	拓本	
1	9	東京都	第一二図 [自由学園内敷石住居跡]	第12図 敷石住居跡	遺構	写真	
1	10	東京都	第一三図 [自由学園内敷石住居跡]	第13図 敷石住居跡	遺構	写真	
1	11	東京都	第一五図 自由学園出土土器	第15図 付近より発見の土器	土器	写真	
1	12	埼玉県	表：第十七図(白濱神社御物) 裏：秩父 秩父諏訪神社蔵 秩父 相模上溝 長二尺七寸 伊豆白浜神社	第17図 石棒	石器	写真・ 図版	部分的に使用
1	13	埼玉県 福島県他	表：石皿 表上：石皿 磐城國田村郡発見(長径九寸七分) 陸奥國下北郡佐井村発見(長径六寸七)(22-4) 表下：第二〇図	第20図 石皿	石器	写真・ 図版	部分的に使用
1	14	埼玉県	表右：武蔵・秩父(ウラ) 皆野新井 小壺 表左：石 皆野新井 裏右：武蔵・秩父(ウラ) 土錘の土版 皆野新井 裏左：石 第二二図 三角硯形土版 皆野新井	第22図 土版類	土器・ 土製品	写真・ 拓本	部分的に使用
1	15	東京都	表：第二八図 78 裏：日本先史土器図譜八輯	第28図 埴形有孔土器	土器	図版	
1	16	千葉県	第三〇図 安房北條 五万 横須賀三号	第29図 大塚貝塚付近地形図	遺跡	地図	部分的に使用
1	17	千葉県	粟島台 常世田忠義氏採集 〔モノクロ図版を手塗り彩色〕 琥珀原石	第32図 硬玉製玉 第33図 琥珀原石	玉類・ その他	写真	部分的に使用
1	18	長野県	第三六図	第35図 上原遺跡配石跡	遺構	写真	
1	19-1	長野県	第四〇図上 39	第39図 第一号環状石籬	遺構	写真	組合せて使用
1	19-2	長野県	第四〇図下	第39図 第一号環状石籬	遺構	写真	組合せて使用
1	20-1	長野県	四一図上 40	第40図 第二号環状石籬	遺構	写真	組合せて使用
1	20-2	長野県	四一図下	第40図 第二号環状石籬	遺構	写真	組合せて使用
1	21-1	長野県	第四二図(上) 41	第41図 東西両立石	遺構	写真	組合せて使用
1	21-2	長野県	第四二図(下)	第41図 東西両立石	遺構	写真	組合せて使用
1	22	長野県	第四三図 42	第42図 円形積石部南方トレンチ内丸 石出土状態とその付近の小ピ ット	遺物出土 状況	写真	
1	23	長野県	第四四図 43	第43図 円形積石北部の小ピット内丸 石出土状態	遺物出土 状況	写真	
1	24-1	長野県	第四五図 44	第44図(1) 円形積石及南方トレンチ内丸 石出土状態	遺物出土 状況	写真	
1	24-2	長野県	第四六図(上) 45	第44図(2) 円形積石上部状態	遺物出土 状況	写真	
1	25	長野県	第四六図(下)	第45図 円形積石下部状態	遺物出土 状況	写真	
1	26	長野県	第四七図 46	第46図 積石下部発掘切断	遺物出土 状況	写真	
1	27	長野県	第四八図 47	第47図 第一号籬西北ピット	遺物出土 状況	写真	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
1	28	長野県	第四九図 配石地附近発見土器 上段：第二号石籬附近 下段：第一号石籬附近小竪穴内	第48図 石籬付近土器破片	土器	拓本	
1	29	長野県	第五一図 50	第50図 石籬付近丸石	石	写真	
1	30	北海道	第五二図	第51図 三笠山麓環状石籬	遺構	スケッチ	
1	31	北海道	第五三図	第52図 稲見山環状石籬	遺構	スケッチ	
1	32	北海道	第五四図	第53図 荷負村方形石籬	遺構	スケッチ	
1	33	秋田県	野中堂(二) 上：26.8.4 下：26.8.7 第五五図	第54図 野中堂放射状敷石	遺構	写真	上のみ使用
1	34	秋田県	野中堂(三) 上：26.8.4 内環4号 下：26.8.3 外環二十六号 第五六図	第55図 野中堂内環状石籬	遺構	写真	上のみ使用
1	35	秋田県	第五七図	第56図 万座発見丸石	石	写真	
1	36	秋田県	万座(二) 上：日時計 下：日時計側面 昭26.8.5	第57図 野中堂内環状石籬	遺構	写真	上のみ使用
1	37	秋田県	野中堂(六) 上：内環発見穴(1) 26.8.6 下：同上(2) 26.8.6 第五九図	第58図 野中堂内環発見ビット	遺構・ 調査風景	写真	下のみ使用
1	38	長野県	第六〇図	第59図 平出遺跡配石	遺構	写真	
1	39	長野県	先(上) 第六二図 (井刈A地区)	第62図 A地区遺構	遺構	写真	
1	40	長野県	先(上) 第六五図 (井刈D地区)	第64図 D地区配石遺構	遺構	写真	
1	41	長野県	表：第七〇図 裏：1.2.3.5 柳沢出土 4. 小柿内出土 6. 田ノ上出土 7. 野中原出土	第69図 木祖地発見土器拓影	土器	拓本	付箋付
1	42	長野県	七一図下	第70図 木曾福島町児野発見遺物	土器・ 石器	拓本・ 実測図	
1	43	長野県	第七二図	第71図 大桑村殿発見土器	土器	拓本	付箋付
1	44	長野県	第七三図	第72図 同上発見石器	石器	実測図	
1	45	長野県	第七五図	第73図 復原住居	その他	写真	右のみ使用
1	46	神奈川県	武蔵本牧真門 第七六図	第75図 本牧町真門発見土器片	土器	拓本	上のみ使用
1	47-1	神奈川県	武蔵・生麦 第七八図(一)	第76図 生麦発見土器片	土器	拓本	組合せて使用
1	47-2	神奈川県	武蔵・生麦 第七八図(二)	第76図 生麦発見土器片	土器	拓本	組合せて使用
1	48	神奈川県	武蔵・雪ヶ谷 第七七図	第77図 生麦発見土器片	土器	拓本	
1	49	神奈川県	武蔵・箕輪 第八一図	第80図 箕輪発見土器片	土器	拓本	部分的に使用
1	50-1	神奈川県	武蔵・高田	第81図 高田発見土器片1 第82図 高田発見土器片2	土器	拓本	組合せて使用
1	50-2	神奈川県	武蔵・高田	第81図 高田発見土器片1 第82図 高田発見土器片2	土器	拓本	組合せて使用

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
1	51	神奈川県	武蔵・高田	第82図 高田発見土器片2	土器	拓本	部分的に使用
1	52	神奈川県	八四図上	第83図 折本貝塚発見土器	土器	写真	
1	53-1	埼玉県	武蔵・白岡 第八六図	第85図 白岡発見土器片	土器	拓本	
1	53-2	埼玉県	外側：武蔵・黒谷 内側：第八七図上 黒谷(石器拓)	第86図 黒谷発見土器片	土器	拓本	組合せて使用
1	53-3	埼玉県	武蔵・黒谷 第八七図下 黒谷	第86図 黒谷発見土器片	土器	拓本	組合せて使用
1	54	神奈川県	先(上) 第一〇三図 三浦半島	第103図 諸磯石器時代遺跡発掘状態	遺構	写真	
1	55-1	青森県 宮城県他	石器時代の土製動物(小此木附圖) 上：第一圖 下：第二圖 一〇七図	第106図 動物土偶	土製品	図版	部分的に使用
1	55-2	青森県 宮城県他	土製動物模型 一〇六図下	第106図 動物土偶	土製品	図版	下のみ使用
1	56	茨城県 千葉県他	鮑形及榮螺形土器 (鮑形 常陸國稲敷郡高田村椎塚発見) (榮螺形 下總國東葛飾郡福田発見) (鮑形 下郷共済会所蔵) (榮螺形 東京 中澤澄男氏所蔵)	第107図 動物を模したもの	土製品	図版	部分的に使用
1	57-1	山梨県 長野県	右：山梨県東八代郡神坂町上黒駒出土 左：土偶 長野県小縣郡丸子町腰越出土	第108図 土偶的につくられたもの	土製品	絵葉書	組合せて使用
1	57-2	秋田県	土偶 秋田県河辺郡上牝手村地方出土 第一〇八図	第108図 土偶的につくられたもの	土製品	絵葉書	組合せて使用
1	58-1	山梨県	一〇九図上 右：顔面把手 左：顔面把手 獣面把手	第109図 把手としてつくられたもの	土製品	絵葉書	
1	58-2	福島県	一〇九図下 装飾石器(磐城國石城郡上遠野村字冷水発見)	第109図 把手としてつくられたもの	土製品	図版	部分的に使用
1	59	千葉県	一一〇図 土偶 千葉県印旛郡白井町江原台出土〔土偶〕	第110図 下總國江原台発見	土偶	絵葉書	
1	60	茨城県	一一一図〔土偶〕	第111図 常陸國河波発見	土偶	図版	
1	61	秋田県	一一二図(中央ノミ) 我孫子発見〔土版〕	第112図 羽後國麻生発見	土製品	写真・ 拓本	部分的に使用
D-2 『第2巻 先史文化論考(下)』に使用された資料							
2	1	東京都	表：口絵(三) 裏：宇津木向原遺跡第2次調査全景 (北沢広氏撮影)	口絵 第2図 宇津木向原遺跡第2次調査全景	遺構	写真	
2	2-1	新潟県	口絵二上	口絵 第4図 千種遺跡遺物 出土状態と自然遺物	遺物出土 状況	写真	組合せて使用
2	2-2	新潟県	口絵二ノ下	口絵 第4図 千種遺跡遺物出土状態と自然 遺物	植物遺存 体他	写真	組合せて使用
2	3	奈良県	第三図 唐古	第3図 弥生式土器の筥書絵	土器	拓本	
2	4	/	第五図	第5図 打製石斧	石器	写真	
2	5	静岡県	表：第六図 挟入石斧・鉋形石器 裏：三島神社徴古館蔵 沼津市三枚橋町北方台地 上大岡村日吉発見	第6図 挟入石斧、有鏃石斧	石器	写真・ スケッチ	
2	6	/	第七図 石剣	第7図 石剣	石器	写真	
2	7	/	第八図 石包丁	第8図 石包丁	石器	写真	
2	8-1	神奈川県	表：第九図 上 裏：浦賀鴨居洞口	第9図 鴨居洞穴遺跡	洞窟	写真	組合せて使用

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
2	8-2	神奈川県	表：第九図 下 裏：鴨居洞穴奥部	第9図 鴨居洞穴遺跡	洞窟	写真	組合せて使用
2	9	千葉県	第一二図 図版第三 上総国守谷荒熊(小浦)洞穴実測図	第12図 守谷荒熊洞穴実測図	洞窟	図版㊟	
2	10	千葉県	第一四図	第14図 守谷本寿寺洞穴発見遺物	土器・貝	写真	
2	11	宮城県	上：第一五図 fig.10 日頃市村関谷洞穴 (八幡一郎氏撮影) 下：第一六図 fig.11 日頃市村関谷洞穴実測図 (大山公爵実測)	第15図 日頃市村関谷洞穴 第16図 関谷洞穴実測図	洞窟	図版	
2	12	宮城県	洞穴 第一七図	第17図 梅ノ木洞穴	洞窟	図版	
2	13	宮城県	右：第一八図 fig.12 梅木女神洞穴実測図 (大山公爵測定) 左：第一九図 fig.13 梅木女神洞穴内層図 (大山公爵測定)	第18図 梅ノ木洞穴実測図 第19図 梅ノ木女神洞穴層位図	洞窟	図版	
2	14	岩手県	上：第二〇図 陸中国・東磐井郡長坂村 fig.16 長坂村熊宮洞穴(八幡一郎氏撮影) 下：第二一図 fig.17 長坂村熊宮洞穴実測図 (大山公爵測定)	第20図 長坂村熊宮洞穴 第21図 熊宮洞穴実測図	洞窟	図版	
2	15	長野県	先(下)第二二図 長野県九子町御岳堂岩谷堂洞穴墳(洞穴遺跡)	第22図 岩谷堂洞穴墳	洞窟	写真	
2	16	富山県	第二三図 人類学雑誌三十三巻七号 大正七年発見、同十一年史蹟指定 越中国氷見郡宇波村大境白山社洞窟内遺跡 Cavern Unami-mura in the Province of Etchu.	第23図 大境白山社境内洞穴	洞窟	図版㊟	
2	17	富山県	越中大境 右：第二四図 fig.21 大境洞穴発見遺物 中：第二四図 fig.19 大境洞穴実測図 左：第二五図 fig.20 大境洞穴遺物層実測図 (佐藤氏ニ據ル)	第24図 実測図 第25図 遺物層層位図 第26図 大境洞穴発見遺物	洞窟	図版	
2	18	徳島県	第二七図 fig.22 徳島城山洞窟	第27図 徳島城山洞穴	洞窟	図版	
2	19	富山県	先(下) 二九図 写真裏：越中氷見郡宇波村大境	第29図 大境洞穴調査団	人物	写真	
2	20	富山県	先(下) 三〇図 写真裏：越中氷見郡宇波村大境	第30図 大境洞穴の出土遺物	洞窟・人物	写真	
2	21	神奈川県	第三二図 壺形土器 裏：原始文様集ノ十一 弥生式号	第32図 小田原発見弥生式土器	土器	図版	
2	22	静岡県	第三三図 伊豆・賀茂・白浜・板戸 板戸一色	第33図 板戸発見土器拓本	土器	拓本	
2	23	静岡県	第三五図 伊豆・賀茂・吉佐美・田京田京 把手	第35図 田京発見土器拓本	土器	拓本	
2	24	静岡県	第三六図 伊豆田京 第六七図	第36図 田中村発見有孔玉器 第67図 有孔小石器	石製品・石器	写真・実測図	部分的に使用
2	25	東京都	第三九図 石器時代の遺跡	第39図 竜ノ口遺跡	遺跡	絵葉書	左のみ使用
2	26	東京都	大島 五万 横須賀十二号	第40図 大島遺跡分布図	島・遺跡	地図	
2	27	東京都	先(下) 上：第四一図 下：第四二図	第41図 竜ノ口・王ノ上・利島発見土器 第42図 センバ崎遺跡 (人の立てる辺りに土器散布す)	土器・遺跡	写真	
2	28	東京都	先(下) 第四三図 大島アハイ遺跡	第43図 アハイ遺跡	遺跡	写真	
2	29	静岡県	第四四図 稲取 横須賀十六号	第44図 見高付近地形図	遺跡	地図	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
2	30	静岡県	第四五図 上：見高石器時代遺跡遠望 下：伊豆見高海岸	第45図 見高石器時代遺跡遠望	遺跡	写真・ 絵葉書	上のみ使用
2	31	静岡県	第七〇図 〔見高遺跡住居址〕	第46図 住居跡全景	遺跡・ 遺構	写真	
2	32	静岡県	第二図 見高発見遺跡遺物見取図	第47図 遺跡遺物見取図	遺跡・ 遺物	図版	
2	33	静岡県	第四七図 見高発見住居址実測図	第48図 住居跡実測図	遺構	実測図	
2	34	静岡県	表：第七一図 裏：伊豆見高	第49図 石畳と列石	遺構	写真	
2	35	静岡県	第七二図 見高住居址	第50図 炉と土器埋没状態	遺構	写真	
2	36	静岡県	第四八図 見高発見住居址実測図	第51図 炉跡実測図	遺構	実測図	
2	37	静岡県	第四九図 見高発見石棒并石群想像見取図	第52図 石棒と石群想定見取図	遺構・ 石器	実測図	
2	38	静岡県	表：第五〇図 裏：伊豆見高	第53図 石棒と群石	遺構・ 石器	写真	
2	39	静岡県	第七四図 上〔見高遺跡〕	第54図 炉と石棒	遺構・ 石器	写真	
2	40	静岡県	第七三図 見高石器時代住居址(爐趾)	第55図 石畳と炉	遺構	写真	
2	41	静岡県	第五一図 見高発見住居址実測図	第56図 住居址実測図	遺構	図版	
2	42-1	静岡県	第五二図 見高発見石棒集成図	第57図 石棒および奇形石器	石器	写真・ 実測図	
2	42-2	静岡県	第七四図(下) 〔見高遺跡〕	第57図 石棒および奇形石器	石器	写真	
2	43	静岡県	第七五図 〔見高遺跡〕	第58図 石鏃と黒曜石大塊	石器	写真	
2	44	静岡県	第五三図 見高発見石臼集成図	第59図 石臼集成図	石器	実測図	
2	45	静岡県	第七六図 〔見高遺跡〕	第60図 石臼と磨石斧	石器	写真	
2	46	静岡県	第五四図 (半頁大) 見高発見乳棒状石器集成図	第61図 乳棒状石器集成図	石器	実測図	
2	47	静岡県	第五五図 見高発見磨石斧集成図	第62図 磨石斧集成図	石器	実測図	
2	48	静岡県	第五六図 (半頁大) 見高発見打石斧集成図	第63図 打製石斧集成図	石器	実測図	
2	49	静岡県	第五七図 見高発見石匙集成図	第64図 石匙集成図	石器	実測図	
2	50-1	静岡県	第五八図 〔見高遺跡〕	第65図 凹石実測図	石器	実測図	
2	50-2	静岡県	第五九図見高発見諸石器図	第66図 その他の石器	石器	実測図	
2	51	静岡県	第六一図 〔見高遺跡〕	第68図 有孔小石器実測図	石器	実測図	
2	52	静岡県	第六二図 見高発見有孔小石器類品集成図	第69図 有孔小石器類品集成図	石器	実測図	
2	53	静岡県	第六三図 〔見高遺跡〕	第70図 壺形石器	石器	実測図	
2	54	静岡県	第六四図 見高発見土器復原図(據土屋氏)	第71図 土器復原図	土器	実測図	
2	55	静岡県	第七七図 第五図 見高遺物	第73図 土器破片・把手・その他	土器	写真・ 図版	
2	56	静岡県	第七八図 〔見高遺跡〕	第74図 土器破片・把手	土器	写真	
2	57	静岡県	第六六図 見高	第75図 土器拓影	土器	拓本	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
2	58	静岡県	第六七図 〔見高遺跡〕	第76図 土製品実測図	土製品	実測図	
2	59	静岡県	第六八図 〔見高遺跡〕	第77図 弥生式土器拓影	土器	拓本	
2	60-1	静岡県	第六九図上 伊豆・賀茂・見高・長野	第78図 見高付近発見の土器拓本	土器	拓本	組合せて使用
2	60-2	静岡県	第六九図下	第78図 見高付近発見の土器拓本	土器	拓本	組合せて使用
2	61	静岡県	第七九図 水窪〔ミサクボ〕 五万分ノ一 豊橋二号 遺跡地点×印御記入の上御返送願ふ	第79図 遺跡付近地図	遺跡	地図	
2	62	静岡県	第八〇図 磐田郡佐久間村半場出土 敷石住居跡見取図	第80図 敷石実測図	遺構	図版	
2	63	静岡県	第八一図 粗製石庖丁(硬砂岩)	第81図 粗製石包丁	石器	図版	
2	64	静岡県	第八二図	第82図 石棒	石器	写真・ 拓本	部分的に使用
2	65	静岡県	第八三図 石冠(青みかげ)	第83図 石冠	石器	実測図	
2	66	静岡県	第八四図	第84図 土器	土器	写真	部分的に使用
2	67	静岡県	第八五図	第85図 土器拓影	土器	拓本	
2	68	静岡県	第八六図 朱塗土器片 薄手 朱塗片	第86図 陸奥式土器拓影	土器	拓本	
2	69	静岡県	第八七図 大場氏	第87図 土偶	土偶	写真・ 拓本	上のみ使用
2	70	静岡県	第八八図	第88図 耳飾片	装身具	実測図	
2	71-1	愛知県	九十図	第90図 一宮村付近先史時代遺物	遺跡・ 土器	写真	
2	71-2	愛知県	九十図	第90図 一宮村付近先史時代遺物	土器他	写真	
2	72	愛知県	第九一図 三河・豊橋・石塚貝塚	第91図 豊橋石塚貝塚土器拓影	土器	拓本	
2	73	愛知県	表：第九二図 砥鹿神社蔵 裏：内田口蔵氏所蔵 袈裟襷文銅鐸(重要美術品)	第92図 砥鹿神社蔵銅鐸	銅鐸	写真・ 絵葉書	部分的に使用
2	74	愛知県	九十三図 砥鹿神社〔銅鐸〕	第93図 同上拓影	銅鐸	拓本	付箋付
2	75	愛知県	第九四図 第一図 西尾町内古代遺跡分布図	第94図 西尾町付近遺跡分布	遺跡・ 古墳	地図	
2	76	愛知県	九六図 西尾貝塚 外観(ロ)〔上町八王子貝塚〕	第96図 貝塚遠望	遺跡	写真	付箋付
2	77	愛知県	九七図 外観(二) 四月十四日	第97図 貝塚表面	遺跡	写真	付箋付
2	78	愛知県	九八図 西尾貝塚(貝層)遺物包含(ヲ)	第98図 貝塚断面	遺物出土 状況	写真	付箋付
2	79	愛知県	九九図西尾	第99図 平底鉢形土器	土器	図版	付箋付
2	80	愛知県	第一〇一図 西尾町八王子貝塚発見把手類	第101図 把手類	土器	写真	
2	81	愛知県	一〇二図	第102図 土器底部拓影	土器	拓本	
2	82	愛知県	一〇四図 原始人之御守(母體) 土版 土偶 (原寸大) 愛知縣西尾町上町八王子貝塚出土 西尾第一尋常小學校蔵 稲垣豆人出版	第103図 土偶の土版	土製品	絵葉書	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
2	83	愛知県	一〇三図 原始人之御守(母體) 土版 (原寸大) 愛知縣西尾町上町八王子貝塚出土 西尾第一尋常小學校藏 稲垣豆人出版	第104図 土偶の土版	土製品	絵葉書	
2	84	愛知県	表：第一〇五図 裏：西尾貝塚発見	第105図 骨器	骨角器	写真	
2	85	愛知県	第一〇六図	第106図 貝製品	貝製品	写真	
2	86	愛知県	第一〇八図	第108図 小間大塚	遺跡	写真	
2	87	愛知県	第一〇九図	第109図 同上発掘断面	遺跡・遺構	写真	
2	88	愛知県	第一一〇図	第110図 小間大塚貝層	遺構	写真	
2	89-1	三重県	表：一一一図上 裏：三重県朝上村杉谷出土	第111図 伊勢杉谷発見石器類	石器	写真	組合せて使用
2	89-2	三重県	表：一一一図下 Fig1. 杉谷発見石器類 裏：三重県三重郡朝上村杉谷三岡出土(市岡氏)	第111図 伊勢杉谷発見石器類	石器	写真	組合せて使用
2	90	三重県	表：一一二図 Fig2. 杉谷発見土器片 裏：朝上村 杉谷三岡	第112図 杉谷発見土器片	土器	写真	
2	91	三重県	表：一一二図 Fig3. 錦村字向井発見土器片 裏：三重県北牟婁郡錦村字向井(イカズクラ) 大正十四年頃発見 (伊藤富太郎氏)	第113図 錦村向井発見土器片	土器	写真	
2	92	新潟県	外側：第1次一遺跡(全景1) 内側右上：遺跡遠望(東北方より) 27.5.7 右下：同上(西方より) 同上 左上：AC地区附近より金北山を望む 27.4.19 一一五図上 左下：木器出土状態 27.5.2	第115図 遺跡全景	遺物出土 状況	写真	左上のみ使用
2	93	新潟県	外側：第二次一遺跡2(遺物出土状況全景) 内側右上：遺跡全景(第一地区) 27.7.27 一一六図 右下：第一地区北側西寄り 27.7.27 左上：北側土器群(西より) 27.7.27 左下：西北部遺物出土(土器中に米あり) 27.7.27	第116図 遺物出土状態	遺物出土 状況	写真	右上のみ使用
2	94-1	新潟県	外側：第一次一遺跡(B地区) 内側右上：土器出土 27.5.1 右下：矢板列(西側より) 左上：土器出土 27.5.4 左中：矢板列(西より) 左下：矢板列 27.5.4 一一七図上	第117図 矢板列・貝塚	遺物出土 状況	写真	部分的に使用
2	94-2	新潟県	外側：第一次一遺跡(矢板列・貝塚) 内側右上：矢板列(一部) 27.5.8 右下：溝中の杭 27.5.9 左：東方貝塚貝層 27.5.6 一一七図下	第117図 矢板列・貝塚	遺物出土 状況	写真	部分的に使用
2	95	新潟県	外側：第一次一遺跡(遺物出土状況1) 内側右上：遺物出土状態(南東寄崖上より) 27.5.6 右下：同上(近写) 同上 第一一八図上 左上：高坏出土状態 27.5.8 一一八図下 左下：東壁出土土器(西より) 27.5.9	第118図 土器出土状態	遺物出土 状況	写真	部分的に使用

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
2	96-1	新潟県	外側：第一次一遺跡(遺物出土状況4) 内側右上：南崖下中央、櫛及動物遺骸(東より) 27.5.7 右下：櫛出土状態 一一九図上 左上：東部ザル出土 27.5.8 左下：同上 同上	第119図 櫛・タモアミ出土状態	遺物出土 状況	写真	部分的に使用
2	96-2	新潟県	外側：第一次一遺跡(遺物出土状況5) 内側右上：北側溝中、たも網杵出土 27.4.19 一一九図下 右下：東側中央部骨鏃出土(南より) 27.5.9 左：加工 木材一部出土 27.5.8	第119図 櫛・タモアミ出土状態	遺物出土 状況	写真	部分的に使用
2	97	新潟県	58 新潟県 千種	第120図 土器 (I)	土器	図版㊟	青焼き
2	98	新潟県	59 新潟県 千種	第121図 土器 (II)	土器	図版㊟	青焼き
2	99	新潟県	60 新潟県 千種	第122図 土器 (III)	土器	図版㊟	青焼き
2	100-1	新潟県	外側：第一次一遺物(木器・骨鏃・箆) 内側右上：たも網杵 27.5.9 右下：C A地区骨角器 第一二三図下 左上：箆(縁その他) 左下：同上 27.5.9	第123図 鉄器と骨角器	木製品・ 骨角器	写真	部分的に使用
2	100-2	新潟県	外側：第二次一遺物(建築材・鉄鏃) 内側右上：A地区ポンプ西側出土 27.6月下旬ー7月上旬 右下：鉄鏃 A地区発動機西側 27.7.6 第一二三図上 左下：[木製品]	第123図 鉄器と骨角器	木製品・ 鉄製品	写真	部分的に使用
2	101	新潟県	外側：第一次一遺物(自然遺物1 焼米) 内側右上：粳穀(サラスカ) 右中：焼米及米粒 右下：焼米、土鏃、粘土(粳痕アリ) 左上：焼米及附着土器片(表) 一二四図下 左中：同上(裏) 左下：右一第一次焼米 左一第二次焼粳(A地点西側出土)	第124図 焼米と付着土器片	土器・植 物遺存体	写真	左上のみ使用
2	116-1	東京都	第一二六図 堅穴	第126図 素文鏡発見の堅穴	遺構	写真	
2	102	東京都	一二七図 [宇津木遺跡出土品] 棚田男氏贈	第127図 鏡と土器	鏡・土器	写真	付箋付
2	103-1	静岡県	一二八図上 静岡市登呂遺跡復原家屋と富士	第128図 家と倉庫	その他	写真	
2	103-2	静岡県	外側：(4)登呂遺跡 倉庫復原写真 内側右上：正面 右中：入口 右下：背面 左上：全景 一二八図下 左下：入口 27.10.30	第128図 家と倉庫	その他	写真	左上のみ使用
2	104	静岡県	一二九図 登呂遺跡・復原想像図(ありし日の登呂部落)	第129図 登呂村推定図	その他	絵葉書	
2	105	静岡県	第一三〇図 7.壺形土器(明治大学保管) (駿河国静岡市大字敷地登呂)	第130図 登呂式土器	土器	絵葉書	
2	106	静岡県	表：一三一図 裏上：1. 局部磨石斧 2. 同上 3. 小刀状石器 4. ガラス玉 5. 小銅鏢 6. 同上 7. 銅釧(1) 8. 同上裏下：銅釧(2)	第131図 腕輪	石器・装 身具	写真	下のみ使用

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
2	107	静岡県	表：一三二図 右裏：1. 鋏先 2. 万鋏 3. 串状鋤 4. 小形串状鋤 5. 有孔木製品 6. 匙形木器 左裏：1. 杓子 2. 槌形木器	第132図 農具	木製品	写真	部分的に使用
2	108	静岡県	一三三図 〔登呂遺跡出土木製品〕	第133図 什器	木製品	写真	
2	109	静岡県	表：第一三四図 右裏：1. 火鑽弓 2. 有頭尖棒状木器 3. 火 鑽白同上 4. 尖棒状木器・同上残缺 5. 有頭 棒状木器残片 6. 頭尖棒状木器 7. 梭状木器 8. 小形槌形木器 9. 方形皿形木器 左裏：向ッテ右方ヨリ 1. 有脚形木器 2. 剣形木器 3. 両把状木器 4. 両頭棒状木器 5. 両頭棒状木器	第134図 火鑽具	木製品	写真	部分的に使用
2	110	静岡県	二二 (五〇)11. 第一礎板群附近竈 (五〇)12. 同上細部 雄山閣全集 四十九年七月	第135図 竈	その他	写真	部分的に使用
2	111	静岡県	第一三六図 〔登呂遺跡出土木製品〕	第136図 儀器・機織具	木製品	写真	
2	112	静岡県	第一三八図 右上：(三六)-1水田址A地点 畦畔を北より望む 右下：(三七)-2矢板並列状態 左上：(三六)-2畦畔を南より望む 左下：(三七)-1矢板並列状態	第138図 畦畔と矢板	遺跡・ 遺構	写真	右上のみ使用
2	113	静岡県	上：1号東溝北端 下：1号西溝	第141図 遺物出土状態	遺物出土 状況	写真	下のみ使用
2	114	東京都	八王子市犬目町甲の原226番遺跡 方形周溝墓実測図 1969.7.21～8.1 都立八工高 富士森高 縮尺1/50	第143図 八王子市犬目町甲ノ原遺跡実 測図	遺構	実測図	
2	115-1	東京都	一四四図 上	第144図 同上出土遺物	玉類・ その他	写真	組合せて使用
2	115-2	東京都	一四四図 下 小麦 大麦	第144図 同上出土遺物	植物遺体	写真	組合せて使用
2	116-2	新潟県	外側：第二次一遺跡1 内側右上：AC地区附近(南より) 27.4.19 右下：遺跡遠望(北より)鉄線 27.7.21 左上：遺跡遠望(東より) 27.7.21 一一五図下 左下：第一地区北側(東より西方を見る) 27.7.27	第115図関連資料 佐渡千種遺跡	遺跡・ 遺構	写真	未掲載資料
D-3 『第3巻 原史文化論考』に使用された資料							
3	1	長野県	〔長野県平出遺跡〕	口絵第2図 長野県平出遺跡分布図	遺跡	写真	
3	2	長野県	表：人面付土師器 裏：口絵四	口絵第3図 長野県片山出土の挙手人面土 師器	土器	写真	
3	3	茨城県	第一一二図	口絵第4図 茨城県大和村(旧雨引村)出土 の女子埴輪 第109図 茨城県雨引村の女子埴輪	埴輪	写真	
3	4	東京都	一図 狛江亀塚発掘状態(1951年6月) 六月九日	第1図 亀塚全景	調査風景	写真	
3	5	東京都	第二図 亀塚	第2図 亀塚実測図	古墳	実測図	
3	6	東京都	第三図 狛江亀塚前方部発見石棺	第3図 前方部発見石棺	古墳	写真	
3	7	東京都	表：第四図 裏：東京都狛江市和泉亀塚	第4図 木炭櫛の内部	遺物出土 状況	写真	下のみ使用

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
3	8	東京都	表：西郊文化へ 十一月二十日 裏：第5図	第5図 神人歌舞画像鏡	鏡	拓本	
3	9	東京都	第六図	第6図 布の拡大	遺物	写真	
3	10	千葉県	第七図 境内図 三十一ノ八号(雑誌一六頁)	第7図 安房神社境内図	神社	実測図㊟	
3	11	千葉県	右：第八図 第一号洞窟 右裏：安房神社洞穴 第一号(上より) 左：第九図 第二号洞窟 左裏：同 第二号(上より)上部ヨリ約四尺四寸 鮑貝と人骨アリ	第8図 第1号洞窟 第9図 第2号洞窟	洞窟	写真	
3	12	千葉県	右：第一〇図 第三号洞窟ノ一 右裏：安房神社洞穴 第三号ノ一 上より約三尺六寸(ほぼ中央) 左：第一一図 第三号洞窟ノ二 左裏：同 第三号ノ二 上より約四尺三寸 (ほぼ中央)	第10図 第3号洞窟ノ一 第11図 第3号洞窟ノ二	洞窟	写真	
3	13	千葉県	右：第一二図 第三号洞窟ノ三 右裏：安房神社洞穴 第三号ノ三 上より約四尺(南壁近く) 左：第一一図 第三号洞窟ノ二 左裏：同 第三号ノ四 上より約四尺(南壁)	第12図 第3号洞窟ノ三 第13図 第3号洞窟ノ四	洞窟	写真	
3	14	千葉県	十四図	第14図 洞窟実測図	洞窟	実測図㊟	
3	15	千葉県	第一五図 雑誌三十一八 28-29頁	第15図 切断面実測図	洞窟	実測図㊟	
3	16	千葉県	第一六図	第16図 土器	土器	図版	
3	17	千葉県	第十七図	第17図 石器	石器	実測図	
3	18	千葉県	上：第一八図 下：安房神社境内発見遺物(第四) 洞窟第二号・第三号発見	第18図 貝輪と玉類	貝製品・ 玉類	写真	上のみ使用
3	19	千葉県	第十九図 [安房神社洞窟遺跡]	第19図 同上実測図	貝製品・ 玉類	実測図	
3	20	千葉県	第二十図 [安房神社洞窟遺跡]	第20図 貝輪実測図(I)	貝製品	実測図	
3	21	千葉県	第二一図 [安房神社洞窟遺跡]	第21図 貝輪実測図(II)	貝製品	実測図	
3	22	山梨県	表：第二二図 裏：甲斐国東八代郡英村井之上 穴観音 姥塚	第22図 姥塚	古墳	写真	
3	23	宮崎県	表：円 裏：第二三図 宮崎県児湯郡西都原「鬼の窟」	第23図 鬼の窟	古墳	写真	
3	24	奈良県	表：第二四図 裏：奈良県高市郡阪会村下平田 鬼の厠	第24図 鬼の厠	石	写真	
3	25	兵庫県	表：第二五図 (播州名所) 石寶殿 裏：兵庫県印南郡生石神社境内「石の宝殿」	第25図 石の宝殿	石	絵葉書	
3	26	愛知県	26図 [幸田 1/ 25000地形図]	第26図 青塚付近地図	遺跡	地図	部分的に使用
3	27	愛知県	第二七図 愛知県額田郡幸田町坂崎 青塚	第27図 青塚全景	古墳	写真	
3	28	愛知県	第二八図 愛知県青塚古墳石室	第28図 青塚石室実測図	古墳	実測図	
3	29	愛知県	第二九図 愛知県青塚古墳	第29図 線画を有する埴輪片	埴輪	写真	
3	30	愛知県	第三〇図 (下ノミ) 愛知県青塚古墳	第30図 埴輪片水鳥	埴輪	写真	下のみ使用
3	31	愛知県	第三一図 (上ノミ) 愛知県青塚古墳	第31図 鹿角製刀装具	武器	写真	上のみ使用
3	32	長野県	第三三図 金冠出土状態	第33図 金冠出土状態	遺物出土 状況	写真	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
3	33	長野県	表：第三四図 金冠 裏：六図上	第34図 金冠	装身具	写真	
3	34	長野県	表：第三五図 金冠部分 裏：3左	第35図 金冠部分	装身具	写真	
3	35	長野県	第三七図 平出一号全景	第37図 平出一号古墳	古墳	写真	
3	36	長野県	第三八図 平出1号墳丘実測 『信濃』183頁第3図	第38図 平出一号古墳墳丘実測図	古墳	実測図	
3	37	長野県	第三九図 平出一号古墳鉄剣出土状態 上：31.8.26 下：31.8.27	第39図 第一号古墳、鉄剣出土状態	武器	写真	上のみ使用
3	38	長野県	平出一号古墳鉄剣出土 上：昭和31.8.27〔写真なし〕 下：第四〇図 同上 鉄剣二口 31.8.28	第40図 第一号古墳、鉄剣出土状態	武器	写真	下のみ使用
3	39	長野県	第四一図 平出鉄剣実測図	第41図 鉄剣実測図	武器	実測図	
3	40	三重県	表：第四三図 高倉山山頂古墳 写真裏：高倉山山頂古墳入口	第43図 高倉山山頂古墳	古墳	写真	
3	41	三重県	第四四図 イセ参宮曼荼羅一部 とりかへ	第44図 伊勢両宮曼陀羅一部	絵図	写真	
3	42	愛媛県	第四五図 愛媛県温泉郡御幸寺山古墳 昭和21.11.17 第八八図 舶来鏡	第45図 御幸山古墳	絵図	拓本	
3	43	神奈川県	第四六図 川崎 二万五千 大場氏	第46図 蒲田付近地形図	遺跡	地図	部分的に使用
3	44	東京都	第四七図 蒲田貝塚 (芹沢氏)	第47図 女塚貝塚発見遺物	土器・石器他	写真	
3	45	東京都	第四一九図 矢倉台竪穴 郷土研究 大場氏4	第49図 成宗矢倉台竪穴実測図	遺構	実測図	
3	46	東京都	第五〇図	第50図 方南町峯竪穴実測図	遺構	実測図	
3	47	東京都	昭和二十五年八月一九月調査 東京都杉並区方南町泉南中学校之峯遺跡関係 右上：第五一図 第三号住居址 右下：同上 左：第三号住居址	第51図 方南町第三号竪穴	遺構	写真	右上のみ使用
3	48	東京都	第五二図	第52図 小豆沢竪穴群実測図	遺構	実測図	
3	49	東京都	表：第五三図 裏：板橋区十五頁 考誌二十八巻九号 第一号竪穴(8.25×7.9米)	第53図 小豆沢第1号竪穴	遺構	写真	上のみ使用
3	50	茨城県	第五四図	第54図 大生原古墳分布図	古墳	分布図	
3	51	長野県	第五五図 塩尻 二万五千	第55図 平出遺跡付近地形図	遺跡	地図	部分的に使用
3	52	長野県	第五六図 郷土研究 大場氏12	第56図 平出遺跡土師竪穴分布図	遺跡	実測図	
3	53	埼玉県	表：第五七図 上下トモ 裏：武蔵秩父郡寄居町末野窯跡	第57図 寄居町末野窯跡	遺跡	写真	
3	54	島根県	第五八図	第58図 玉造付近遺跡分布図	遺跡	地図	
3	55	千葉県	表：第六〇図 菅生遺跡全景 (右方の森は景清の森) 菅生遺跡地図二万五千分一 裏：十四日 見学の小学生	第60図 菅生遺跡全景 (右方の森は景清の森)	遺跡	写真	
3	56	千葉県	表：第六一図 裏：第一期調査での一14ノ上 第二回十二月十二日 (三)ノ引伸	第61図 手槌出土状態	木製品	写真	
3	57	千葉県	原史 第六二図	第62図 出土木製品	木製品	写真	
3	58	千葉県	第六三図	第63図 出土土器類	土器	写真	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
3	59	千葉県	表：64 第六八図 裏：4月12日	第64図 土器出土状態	遺物出土 状況	写真	
3	60	千葉県	表：65 第六九図 裏：四月十七日 二期	第65図 堅穴	遺構	写真	部分的に使用
3	61	千葉県	第六四図	第66図 各種出土品	石製品・ 土器他	写真	
3	62	千葉県	第67図 菅生遺跡発掘地区略測図 (昭和十三年七月現在)	第67図 菅生遺跡発掘地区略測図 (昭和13年7月現在)	遺構	実測図	
3	63	千葉県	原史 第68図 4月10日 16区溝	第68図 第四区溝断面	遺構	写真	
3	64-1	千葉県	69 原史 第七一図 4月19日 16区(二期) 杭の並列 33区	第69図 杭の配列状態	遺構	写真	
3	64-2	千葉県	第七三図 (とりなおし) 第三圖 大場氏	第69図 杭の配列状態	遺構	図版	
3	65	千葉県	表：70 第七二図 裏：二〇 四月十九日	第70図 杭	遺構	写真	
3	66	京都府	71 第七三図 第一論文大場氏 第五圖	第71図 京都府山田村付近柱配列	遺構	図版	
3	67-1	千葉県	72 原史 第七六図	第72図 木器各種	木製品	図版	部分的に使用
3	67-2	千葉県	第七六図 マワリ消シ	第72図 木器各種	木製品	図版	
3	68	千葉県 奈良県	73 第七七図 菅生 唐古	第73図 鉋実測図	木製品	実測図	
3	69	千葉県	74 第七八図 菅生発見杵実測図 第二図 6号 杵	第74図 杵実測図	木製品	実測図	
3	70-1	千葉県	75 第七九 原 第七九図	第75図 菅生日野発見杵および土俗品	木製品	図版	部分的に使用
3	70-2	千葉県	第八九図 切りヌケ	第75図 菅生日野発見杵および土俗品	木製品	図版	
3	70-3	千葉県	表：第七九図 コナゲペラ とりかへ 裏：十二年十月写	第75図 菅生日野発見杵および土俗品	木製品	図版	
3	71	千葉県	76 原史 第八〇図	第76図 土堀具	木製品	写真	
3	72	千葉県	77 第八一図 土堀具実測図 考古学雑誌6号 第五図	第77図 土堀具実測図	木製品	実測図	
3	73	千葉県	78 原史 第八三図	第78図 田舟	木製品	図版	
3	74	千葉県	79 上：三重県佐那具所用 アチックミュージアム蔵 下：田舟	第79図 田舟	木製品	図版	
3	75-1	千葉県	第八四図	第80図 板舟	木製品	図版	部分的に使用
3	75-2	千葉県	80 原史 第八四図 キリヌキ	第80図 板舟	木製品	写真	
3	76-1	千葉県	81 題八五図	第81図 泥覆	木製品	写真	組合せて使用
3	76-2	千葉県	下駄類 (にじゅう一) 第九図ノ二 6号	第81図 泥覆	木製品	実測図	組合せて使用
3	77	千葉県 三重県	82 第86図 右：イセ花岡町新之方 鈴木氏 左：田下駄 アケハケ 民族博物館	第82図 泥覆土俗例	木製品	図版	
3	78	千葉県	83 原史 第八七図	第83図 手槌	木製品	写真	
3	79	千葉県	84 第八八図 第十二図 考古学雑誌	第84図 手槌実測図	木製品	実測図	
3	80	千葉県	85 第九〇図 杵 唐古 菅生 第十五図6号	第85図 杵実測図 (右2本唐古・左2本菅生)	木製品	実測図	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
3	81	奈良県	86 第九一図 郷土研究大場先生 巻六	第86図 春日権現の一部	木製品	スケッチ	
3	82	兵庫県 東京都 岡山県 台湾	87 第九二図 (上ノミ) 右上: ミソツキ杵 八丈島 岡山市 左上: 台湾所用 下: 上総菅生 二三年四月	第87図 杵民俗資料	木製品	図版	上のみ使用
3	83	千葉県	第九三図 上代文化十八號3頁 断面図	第88図 遺跡断面図	遺構	図版㊟	
3	84	千葉県	89 第九五図	第89図 堅穴	遺構	写真	
3	85	千葉県	90 第九四図 右: 西側 左: 南側	第90図 井戸枠	遺構	写真	
3	86	千葉県	91 第六六図 第二期 4月14日	第91図 弓弭出土状態	遺物出土 状況	写真	
3	87-1	千葉県	原史 第六五図 右上: 二期6区 33図 右下: 19日(6区) 左上: 4月18日 34図 左下: 4月20日(6区) 34図	第92図 木器出土状態、右より矢・櫛・ 槽・千キリ	遺物出土 状況	写真	組合せて使用
3	87-2	千葉県	六五図 右上 菅生遺跡木器出土	第92図 木器出土状態、右より矢・櫛・ 槽・千キリ	遺物出土 状況	写真	組合せて使用
3	87-3	千葉県	第六五図 右下: 第二期三六 左下: 第二期四一	第92図 木器出土状態、右より矢・櫛・ 槽・千キリ	遺物出土 状況	写真	組合せて使用
3	88	千葉県	93 第九六図	第93図 梯子・槽出土状態	遺物出土 状況	写真	
3	89	茨城県	94 第九七図 行方郡 大生原村 2号墳 (東方から) 27.9.23日 第一図	第94図 大生古墳第一号墳	古墳	写真	
3	90	茨城県	第九八図 造出部 スエ甕 出土 杯甕 (めくより) 27.12.25午前	第95図 造出部の土器出土状態	遺物出土 状況	写真	
3	91	岐阜県	表: 第九九図 供物を容し杯 裏: 美濃国海津郡円満寺蔵 同寺裏山出土	第96図 貝の入った杯	土器・貝	写真	付箋付
3	92-1	／	97 [性器付埴輪]	第97図 男女性器の埴輪	埴輪	写真	組合せて使用
3	92-2	群馬県	97 上野国新田郡九合村東矢島 人類学教室蔵	第97図 男女性器の埴輪	埴輪	写真	組合せて使用
3	93	／	第一〇一図 鶏のついた家型埴輪(梶岡男氏提供)	第98図 鶏のとまった家型埴輪	埴輪	写真	
3	94	長野県	99 第一〇二図上 桜井 右: 十二号全景ノ一 11.3 左: 十二号全景ノ二 25.11.3	第99図 第12号堅穴(上)と第12号、 23号堅穴実測図	遺構	写真	
3	95	長野県	99 第七図(桜井) (第一〇一図下) 平出第二次調査 第12、23号住居址実測図	第99図 第12号堅穴(上)と第12号、 23号堅穴実測図	遺構	実測図	
3	96	石川県	100 第一〇三図	第100図 石製品 (未成品)	石製品	写真	
3	97-1	茨城県	第3巻 人面付壺 弥生中期 茨城県女方	第104図 人面土器 (中) 下野国野沢発見 (左) 常陸国女方発見 (右) 尾張国市場発見	土器	図版	
3	97-2	栃木県	表: 51 土器頸部 下野国河内郡國本村大字野澤発見 (東京都帝國大學理學部人類學教室蔵) 裏: 原始文様集六	第104図 人面土器 (中) 下野国野沢発見 (左) 常陸国女方発見 (右) 尾張国市場発見	土器	図版	
3	98-1	奈良県	唐古 飯田氏	第105図 大和国唐古発見弥生式土器篋 書	土器	拓本	組合せて使用

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
3	98-2	奈良県	[絵画土器]	第105図 大和国唐古発見弥生式土器篋書	土器	拓本	組合せて使用
3	99	東京都	106 第一〇九図 遺物(橋本氏蔵) 30. 11. 17	第106図 武蔵今泉発見土製品	土製品	写真	部分的に使用
3	100	大阪府	107 第一一〇図 上：上古供物の圖 下：[土製品]	第107図 河内春日村発見土製品	土製品	写真・図版	下のみ使用
3	101	群馬県	表：108 第一一一図 裏：上野國佐波郡剛志村境上武士 (和田千吉氏蔵)	第108図 群馬県剛志村の男子埴輪	埴輪	写真	
3	102	茨城県	第112図[女子埴輪]	第109図 茨城県雨引村の女子埴輪	埴輪	写真	
3	103-1	千葉県	第六七図[菅生遺跡]	第68図関連資料 調査風景	調査風景	写真	未掲載資料
3	103-2	千葉県	93 第七〇図 第二期 4月20日[菅生遺跡]	第93図関連資料 遺物出土状態	木製品	写真	未掲載資料
D-4 『第4巻 歴史考古学論考』に使用された資料							
4	1	千葉県	第九図 写真裏：九十九坊塔土壇 48. 7. 16	口絵第1図 九十九坊廃寺塔跡土壇と心礎 第9図 塔跡土壇(南方より)	遺跡・ 遺構	写真	
4	2	千葉県	表：第一〇図 写真裏：九十九坊塔礎石 48. 7. 16	口絵第1図 九十九坊廃寺塔跡土壇と心礎 第10図 塔心礎	遺跡・ 遺構	写真	
4	3	長野県	口絵(一) 諏訪神社	口絵第3図 諏訪神社経塚と遺物	経塚・ 遺物	写真	
4	4	東京都	第一図	第1図 文字瓦と古銭	瓦・ 古銭	拓本	
4	5	東京都	第二図	第2図 人面戯画瓦片	瓦	拓本	
4	6	京都府	歴史 第三図	第3図 京所廃寺跡発見文字瓦	瓦	拓本	
4	7	千葉県	表：第七図 犬石 裏：九十九坊 犬石 48. 7. 16	第7図 犬石	石	写真	
4	8	千葉県	6FKK 九十九坊廃寺跡 指定地 平面図・断面図 Scale 1/100(平面図)・1/50(断面図) 一山典・千家和比古 73. 07. 24-28	第8図 塔跡実測図	遺構	実測図㊦	青焼き
4	9	千葉県	上総九十九坊 第一二図	第12図 鍔瓦	瓦	拓本	部分的に使用
4	10	千葉県	第一五図 九十九坊	第15図 宇瓦拓影	瓦	拓本	部分的に使用
4	11	千葉県	第一七図 裏：第十七	第17図 波岡村牛ヶ作窯跡	遺跡	写真	
4	12	千葉県	第十八図	第18図 牛ヶ作窯跡出土遺瓦	瓦	写真	部分的に使用
4	13	千葉県	第一九図 裏：上総九十九坊寺趾	第19図 元禄古図	地図	写真	右のみ使用
4	14-1	静岡県	伊豆国分尼寺趾 祐泉寺蔵 裏：第二一図一	第21図 伊豆国分寺・下総竜角寺・ 下総木下廃寺の鍔瓦	瓦	拓本	右のみ使用
4	14-2	千葉県	印旛郡石神台木下廃寺	第21図 伊豆国分寺・下総竜角寺・ 下総木下廃寺の鍔瓦	瓦	写真・ 図版	部分的に使用
4	15-1	千葉県	第二二図ノ1 大寺	第22図 宇瓦拓本 下総大寺・下総木下廃寺・ 下総竜角寺	瓦	拓本	上のみ使用

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
4	15-2	千葉県	第二二図ノ2 上右：下総木下町別所廃寺跡瓦 上左：下居山長者屋敷址唐草瓦 下右：下総国印旛郡木下町別所廃寺唐草瓦 下左：川原代村安楽寺境内出土唐草瓦	第22図 宇瓦拓本 下総大寺・下総木下廃寺・ 下総竜角寺	瓦	拓本	下のみ使用
4	15-3	千葉県	龍角寺（第二二図ノ3）	第22図 宇瓦拓本 下総大寺・下総木下廃寺・ 下総竜角寺	瓦	拓本	
4	16-1	千葉県	千葉寺 千葉一高資料室	第24図 千葉寺発見古瓦	瓦	拓本	
4	16-2	千葉県	千葉寺 千葉一高資料室 34.12.21	第24図 千葉寺発見古瓦	瓦	拓本	
4	17	奈良県	第三三図 墨書銘土器 （第5次発掘）1961春〔平城宮〕	第33図 墨書土器	土器	絵葉書	
4	18	奈良県	第三四図〔平城宮〕	第34図 墨書土器	土器	実測図	
4	19	神奈川県	挿図 第三六図 前田家本伊呂波字類抄の一部	第36図 前田家本『伊呂波字類抄』の 一部	その他	写真	
4	20	千葉県	第三八図 油坏	第38図 油坏実測図	土器	実測図	
4	21	千葉県	第三九図	第39図 墨書のある竊坏	土器	写真	
4	22	千葉県	第四〇図 下総国府関係	第40図 博士館（土器）実測図	土器	実測図	
4	23	千葉県	第四一図	第41図 土製二面硯	土器	写真	
4	24	山梨県	第四二図 裏面：全景 乞返却 地方部佐藤 昭和34.12.24撮影	第42図 日下部遺跡	遺跡	写真	
4	25	山梨県	第四三図 日下部発見遺物	第43図 出土遺物	金属製品 他	写真	
4	26	埼玉県	第四四図 武蔵國野本村発見（右）及発見地不詳（左） 経筒（東京帝室博物館蔵） 第三十六集（経塚號1） 裏：考古図集廿六	第44図 比企郡野本の経筒	経筒	図版	
4	27	長野県	第四五図 秋宮経塚畧測図	第45図 諏訪秋宮経塚実測図	神社	実測図	
4	28	長野県	第四六図 石室内発見陶器	第46図 石室内発見陶器	土器	写真	
4	29	長野県	第四七図	第47図 黄金入境	金属製品	写真	
4	30	奈良県	歴史時代 四九図	第49図 春日山経塚	経塚	写真	
4	31	奈良県	歴史時代 五〇図	第50図 春日山経塚	遺構	写真	
4	32-1	埼玉県	歴史時代 五二図 熊谷西別府遺跡	第52図 西別府遺跡と発掘	遺跡	写真	
4	32-2	埼玉県	歴史時代 五二図 熊谷西別府遺跡発掘	第52図 西別府遺跡と発掘	調査風景	写真	
4	33	埼玉県	第五二図 上：53 下：54	第53図 滑石製馬形と有孔円盤・櫛形 第54図 有孔円盤と勾玉・剣形・櫛形	石製模造 品	写真	組合せて使用
4	34	奈良県	第五六図 図版十号 橿原神宮附近	第56図 奈良県発見土馬	土馬	写真	
4	35	和歌山県	第五八図 （上） 38.8 上裏：88図 下裏：5	第58図 蓬莱山全景	風景	写真	上のみ使用
4	36	和歌山県	第六二図	第62図 上オンピAトレンチ	遺跡	写真	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
4	37	和歌山県	表：第六三図 写真裏：熊野 産田神社 第六三図	第63図 産田神社石組	遺構	写真	
4	38	和歌山県	第六四図	第64図 御正鉢出土状況	遺物出土 状況	写真	
4	39	和歌山県	第六七図	第67図 阿須賀神社古図	神祠	写真	部分的に使用
4	40-1	三重県	六八図上 内宮御贄調理所石積神祠	第68図 (上) 内宮御贄調舎石積神祠 (下) 内宮蕃垣外石積神祠	神祠	写真	上のみ使用
4	40-2	三重県	六八ノ下 内宮蕃垣外石積神祠	第68図 (上) 内宮御贄調舎石積神祠 (下) 内宮蕃垣外石積神祠	遺構	写真	上のみ使用
4	41	東京都	第六九図	第69図 お茶の水地下坑	遺構	写真	上のみ使用
4	42	東京都 神奈川県	表：第七〇図 お茶水地下坑略図 裏：第二図 相模國々分逆川地下坑 (據相模國分寺志)	第70図 お茶の水地下坑略図	遺構	実測図	表のみ使用
4	43	東京都	第6図 蔵手刀実測図 武蔵野市史	第72図 蔵手刀実測図	鉄製品	実測図	
4	44	三重県	第七六図 三重県柚井発見	第76図 三重県桑名郡多度村柚井発見 灰釉陶器片	土器	写真	部分的に使用
4	45	和歌山県	第七七図 新宮市アスカ神社発見	第77図 和歌山県新宮市阿須賀神社 境内内発見灰釉陶器片	土器	写真	部分的に使用
4	46	長野県	第七六図 (マワリを消スコト) 1・2・6=のべ沼 3・4=平出 5=床屋	第78図 灰釉陶器の型式	土器	図版	部分的に使用
4	47	山形県	第二図	第80図 羽黒山発見古鏡	鏡	拓本	
4	48	茨城県	第三図	第81図 鹿島神宮奉納鏡	鏡	写真	
4	49	千葉県	香取神宮蔵 (一二)	第85図 香取神宮奉納鏡管	木製品	拓本	
4	50	大阪府	第八〇図	第89図 布施発見の盃と筥書文字	土器	拓本	
4	59	奈良県	第82圖	第91図 石上神宮蔵酒甕	土器	写真	
4	51	千葉県	第七図 大石	第7図関連資料 大石	石	写真	未掲載資料
4	52	千葉県	第一〇図	口絵第1図関連資料 九十九坊廃寺礎石	石製品	写真	未掲載資料
4	56	和歌山県	第六四図	第64図関連資料 御正鉢出土状況	鏡	写真	未掲載資料
4	53	三重県	第七二図 実測図	第72図関連資料 蔵手刀	鉄製品	写真	未掲載資料
4	54	三重県	表：73 第一図 裏：玉纏御太刀	第73図関連資料 玉纏太刀	武器	写真	未掲載資料
4	55	三重県	表：74 裏：須我利御太刀	第74図関連資料 須我利御太刀	武器	写真	未掲載資料
4	57	千葉県	下總國分寺発見 徳富武男君蔵	第21図関連資料 伊豆国分寺・下総竜角寺・ 下総木下廃寺の鍔瓦	瓦	拓本 写真	未掲載資料
4	58	千葉県	下總國分寺址	第22図関連資料 宇瓦拓本 下総大寺・下総木下廃寺・ 下総竜角寺	瓦	拓本	未掲載資料

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
D-5 『第5巻 古典と考古学』に使用された資料							
5	1	/	口絵(三) [弾琴埴輪]	中表紙	埴輪	写真	部分的に使用
5	2-1	長野県	表：歴 第四九図 砥鹿神社 昭和三十一年十一月雨調査 案石雑筆三八巻一一〇頁 裏：神社境内社務所裏	口絵 第4図 砥鹿神社境内の経塚と出土遺物	神社	写真	上に使用
5	2-2	長野県	表：[土器・刀子写真] 裏：土器 十二枚・・・ 刀子 二本・・・	口絵 第4図 砥鹿神社境内の経塚と出土遺物	土器・鉄製品	写真・スケッチ	組合せて使用
5	2-3	長野県	表：[経筒・鏡写真] 裏：陶製経筒・・・扶桑紀年銘鏡	口絵 第4図 砥鹿神社境内の経塚と出土遺物	経筒・鏡	写真・スケッチ	組合せて使用
5	3	長野県	表：第二図 裏：信濃国更級郡若宮 更級神社蔵	第2図 信濃若宮の銅剣	武器	拓本	左のみ使用
5	4-1	茨城県	表：大串外観(二) 上写真裏：大串貝塚遠望 古典発掘	第4図 大串貝塚の遠望(上)と貝(下)	遺跡	写真	
5	4-2	茨城県	表：④-2 第四図 写真裏：土壁の右側 大串貝塚の貝層 古典発掘	第4図 大串貝塚の遠望(上)と貝(下)	遺構	写真	
5	5	茨城県	表：第五図 写真裏：大串貝塚発見土器	第5図 大串貝塚発見土器	土器	写真	
5	6	大阪府	堅魚木をのせた切妻家屋根 [家形埴輪] (京都帝國大學文學部蔵) 河内國中河内郡古市村大字誉田発掘	第9図 埴輪家	埴輪	図版	
5	7	茨城県	第一〇図 上：右常陸國筑波郡小野川村發掘	第10図 埴輪大	埴輪	図版・絵葉書	下のみ使用
5	8	神奈川県	表：第一一図 ⑫ 埴輪(馬) 横須賀赤星直忠氏蔵	第11図 埴輪馬、飾られた馬の姿	埴輪	絵葉書	
5	9	群馬県	表：14図 第七図版 埴輪男子像 群馬縣佐波郡殖蓮村大字八寸發掘 裏：1 高五一榎 鋤を肩にす 2 高四九榎 3 高四二榎鎌を腰にす (博報・昭和五年度)	第14図 農夫の埴輪	埴輪	図版	右のみ使用 付箋付
5	10	奈良県	第一七図 大和イカルガ岳磐座	第17図 生駒山中在磐座	山・石	写真	
5	11	奈良県	第一九図 [手捏土器]	第19図 天扶土器	土器	写真	
5	12	島根県	二〇図 [神社写真]	第20図 玉作湯神社	神社	写真	
5	13	群馬県	第23図 上 床の高い家 上野國佐波郡赤堀村大字今井茶白山發掘 (帝室博物館蔵)	第23図 埴輪家(倉)	埴輪	図版	部分的に使用 付箋付
5	14	奈良県	表：イ 鑄出画的文様(鏡) (1) 裏：上代文様集 第一輯	第24図 家屋文鏡の四軒拓本	鏡	図版	部分的に使用
5	15-1	岡山県	表：第二七図 高島遺跡 裏：高島 42.12.4	第27図 手扶・小形丸底壺	土器	写真	
5	15-2	岡山県	第二七図	第27図 手扶・小形丸底壺	土器	図版	
5	16	長野県	表：第二八図 白玉 神坂 金谷氏撮影 裏：称名寺獨鈷及五鈷鈴	第28図 竹玉	玉類	写真	
5	17	長野県	29図 第三五図	第29図 神坂峠の滑石製模造品	石製模造品	実測図㊟	
5	18	静岡県	30 第三一図	第30図 遠国嶼の実測図	遺構	図版	
5	19	群馬県	31 第三二図	第31図 巫女の埴輪	埴輪	図版	
5	20	長野県	長野県西筑摩郡神坂村神坂峠 (頂上一五九五米) 上：頂上發掘 下：頂上より伊那側を見る 26.7.28 裏：雄山閣より	第32図 神坂峠の發掘(第1回) 第33図 峠上より信濃側をみる	調査風景・遺跡	写真	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
5	21	福島県	第三六図 泉崎横穴壁画（西白河郡川崎村）	第34図 泉崎横穴の壁画	絵葉書	写真	年賀状を転載
5	22	茨城県	表：第三八図 〔墨書土器〕 茨城県東茨城郡稲荷村 稲荷中学校々庭（佐藤氏蔵） 裏：茨城県東茨城郡稲荷村	第36図 茨城県の墨画皿	土器	写真	
5	23	栃木県	湯津上村上侍塚古墳	第39図 那須上侍塚	古墳	図版	
5	24	栃木県	第四二図	第40図 那須国造碑	金石文	写真	
5	25	埼玉県	表：第四三図（上ノミ） 裏：北埼玉郡埼玉村古墳	第41図 埼玉古墳群	古墳	写真	上のみ使用
5	26	千葉県	表：第四四図 上総内裏塚 35.2.21 裏：万葉集巻九 上総の末の珠名娘子 を詠める一首并短歌・・・	第42図 上総内裏塚	古墳	写真	
5	27	山梨県	表：第四五図 裏：甲斐国鮒子塚遠望	第43図 甲斐鮒子塚	古墳	写真	
5	28	茨城県	第四六図 沼尾池跡発見遺物	第44図 沼尾池発見の鏡 第45図 沼尾池発見の須恵器高杯	鏡	図版	
5	30	島根県	50図 51 出雲大社国宝図録解説参照 重要文化財 銅戈 硬玉勾玉	第49図 銅戈と勾玉	武器・ 玉類	図版	
5	31	島根県	〔命主神社境内図〕	第50図 古図にみる命主神社	絵図	写真	
5	32	和歌山県	表：51 古典と考古学 第五三図 神倉神社とことびき岩 裏：五三図 神倉神社 古典と考古学	第51図 神倉神社とことびき岩	神社	写真	
5	33	和歌山県	表：神倉山 銅鐸片 裏：第五四図 神倉山出土銅鉾片 （速玉神社蔵）	第52図 銅鐸片	銅鐸	拓本	
5	34	栃木県	第五五図（上） 宇都宮二荒山神社境内発見 明治六年本殿再建の際発見	第53図 二荒山神社発見祭器	石製模造 品・玉類	写真	上のみ使用
5	35	愛知県	上：（上）第五七図 愛知県猿投山遠望 下：（下）五八図 同上猿投神社オーム石 40年7月	第55図 猿投山遠望 第56図 猿投神社鸚鵡石	山・石	写真	
5	36	愛知県	第五九図 猿投神社 神号額	第57図 猿投神社神号額	額	写真	右のみ使用
5	37	愛知県	第六一図 砥鹿神社	第59図 銅鐸	銅鐸	写真	右のみ使用
5	38	静岡県	表：古典と考古学 第六三図 伊豆山神社 写真裏：伊豆山神社と神山	第60図 伊豆山神社	神社	写真	
5	39	静岡県	表：古典と考古学 第六四図 伊豆山中本宮社 写真裏：伊豆山中本宮社	第61図 中本宮社	神社	写真	
5	40	静岡県	第六五図 右：古剣 伊豆山神社蔵 左：永久5年在銘経筒（伊豆山神社蔵）	第62図 経筒と古剣	経筒・ 武器	図版	
5	41	千葉県	第六七図 やまごと実測図 大場先生	第63図 やまごと実測図	木製品	実測図	
5	42	静岡県	74 第六八図	第64図 登呂遺跡発見の琴	木製品	写真	
5	43	埼玉県 茨城県	上：67 第七三図 下：68	第67図 埴輪琴残片 第68図 埼玉県東松山市発見琴	埴輪	写真 実測図	
5	44	福岡県	第七四図 69	第69図 福岡県沖ノ島祭祀遺跡発見 五絃琴	銅製品	図版	
5	45	奈良県	70 第七五図	第70図 小治田安麻呂墓誌	金石文	写真	

巻数	資料番号	都道府県	遺跡名・所蔵者・日付等	著作集における表記	種別	記録形式	備考 (掲載状況)
5	59	長野県	第二九図 上：神坂峠出土遺物 26.12.24 下：同上	第76図 岡山発見遺物	鉄製品・ 石製模造 品他	写真	上のみ使用
5	46	長野県	75 第七九図	第78図 雨境峠鳴石	石	写真	
5	47	兵庫県 東京都 岡山県 台湾	アチックミュージアム所蔵 右：第八六図 日本各地の堅杵 2 ミソツキ棒 兵庫県養父郡大屋村大杉 3 八丈島所用 4 昔の杵(岡山市) 左：第八三図 台湾人所用	第79図 台湾人所用の堅臼と堅杵 第82図 堅杵	木製品	写真	
5	48	千葉県	第八七図 堅杵各種	第83図 堅杵実測図	木製品	実測図	
5	49	静岡県	第八八図	第84図 登呂遺跡発見杓子	木製品	写真	
5	50	埼玉県	表：第九〇図	第86図 神事用ヒサゴ	木製品	写真	
5	51	静岡県	第九一図	第87図 登呂遺跡杵	その他	写真	
5	52	奈良県 静岡県他	第九二図 木鍬各種	第88図 木鍬各種	木製品	実測図	
5	53-1	鹿児島県 島根県他	上右：鍬頭 鹿児島県発掘 上左：犁頭 石見国美濃郡四見下村発掘 下右：鍬頭 備後国双三郡吉舎村発掘 下左：鍬頭 美作国真庭郡八束村発掘	第89図 鉄製鍬・万鍬	鉄製品	図版	右下のみ使用
5	53-2	群馬県 福岡県	上右：鍬 上野国群馬郡岩鼻火薬製造所構内発掘 上左：馬鍬身 筑後国浮羽郡福富村発掘	第89図 鉄製鍬・万鍬	鉄製品	図版	上のみを使用
5	54	奈良県	第九五図 各地発見木鍬	第91図 各地発見木鍬	木製品	実測図	
5	55-1	岩手県	コナゲベラ(岩手県雫石村)	第92図 木鍬各種	木製品	写真	
5	55-2	千葉県	97 第九六図	第92図 木鍬各種	木製品	写真	
5	56	奈良県 静岡県	第九七図 機織関係木器 郷土研究 1.唐古 2.唐古 3.登呂 4 5	第94図 機織関係木器	木製品	実測図	
5	57	福岡県	第九八図 沖島	第95図 沖島発見(金銅機)	銅製品	写真	
5	58-1	千葉県	口絵(カラー)	口絵第1図関係資料 千葉県菅生遺跡発見の琴	木製品	写真	未掲載資料
5	58-2	千葉県	第六六図	口絵第1図関係資料 千葉県菅生遺跡発見の琴	木製品	写真	未掲載資料
5	61	和歌山県	神倉山 三 第五三図 上：ゴトビキ岩正面 下：同上側面 三七. 八月五日	第51図関係資料 神倉神社とゴトビキ岩	石	写真	未掲載資料
5	60	静岡県	第六三図 伊豆山神社拝殿	第60図関係資料 伊豆山神社	神社	絵葉書	未掲載資料